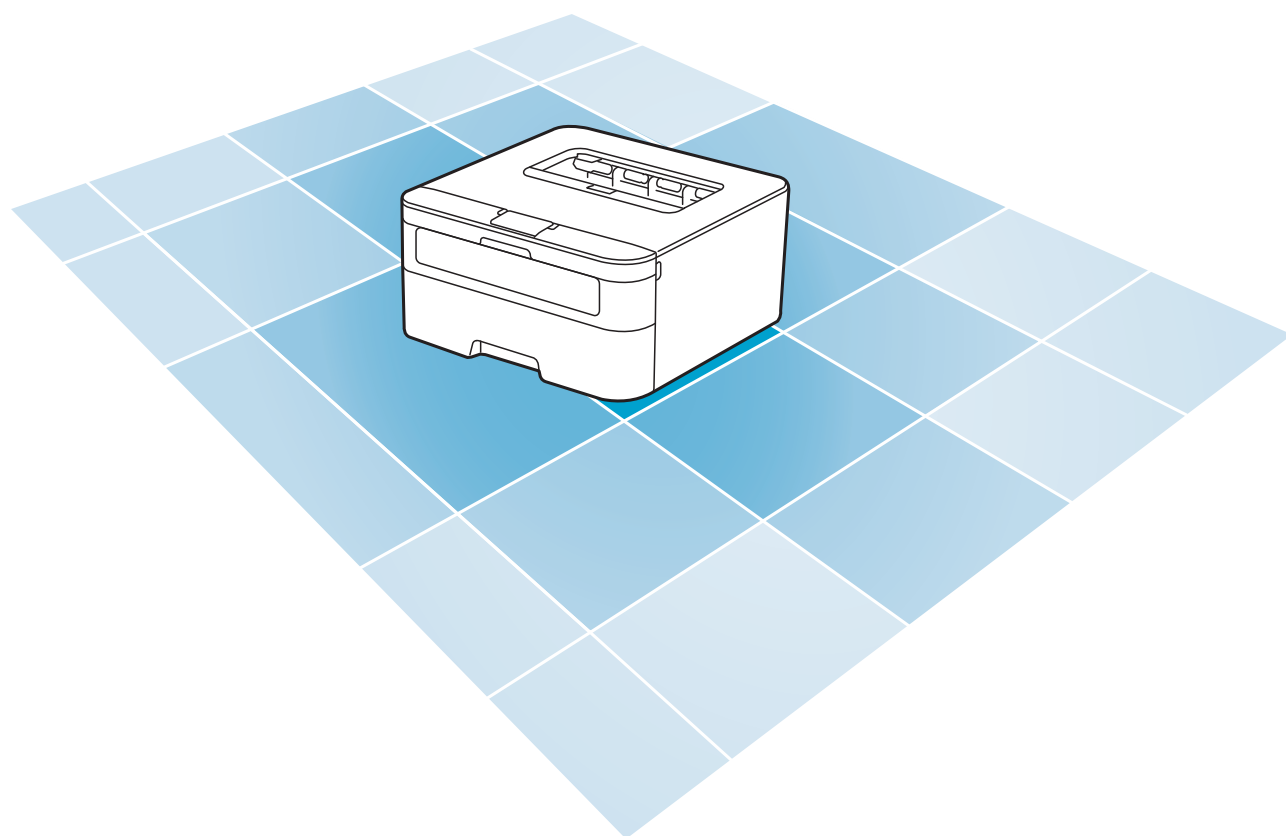


MultiWriter 5150

MultiWriter 5140



ユーザーズガイド

ネットワーク操作編

目次

本ガイドの使い方	1
推奨ブラウザ	2
対象となるモデル	3
マークについて	4
編集ならびに出版における通告	5
重要事項	6
ネットワーク	7
はじめに	8
サポート対象の基本ネットワーク機能について	9
ネットワーク接続タイプの選択について	10
有線 LAN 接続について	11
無線 LAN 接続について	14
ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について	17
ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて	18
ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて	21
本製品のネットワーク設定について	25
操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する	26
ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する	27
BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す (Windows®および Macintosh®)	28
無線 LAN 設定方法について	29
無線 LAN の設定を行う前に	30
USB ケーブルを使用して、本製品に無線 LAN を設定する	31
インストーラアプリケーションを使用して、USB ケーブルを使用しないで本製品に無線 LAN を設定する	33
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™を使用した、本製品への無線 LAN の設定について	35
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する	37
アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)	42
本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する	46
SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する	48
Wi-Fi Direct の使用について	50
高度なネットワーク機能について	59
ネットワーク設定レポートを印刷する	60
上級ユーザーのための技術的な情報について	61
サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について	62
Windows®からのネットワーク設定の追加について	63
利用可能なサービス	70
その他の IP アドレス設定方法について	71
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする	77
WLAN レポート (無線 LAN レポート) を印刷する	78
トラブルシューティング	81
問題解決のための事前トラブルシューティングについて	82
問題の特定と解決について	83
操作パネルのネットワークメニューについて	94
TCP/IP	95
イーサネット (有線 LAN のみ)	97

■ ホーム > 目次

有線 LAN の状態.....	98
MAC アドレス	99
WLAN アシスタント（無線 LAN のみ）	100
セットアップウィザード（無線 LAN のみ）	101
WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）	102
WPS w/PIN コード（無線 LAN のみ）	103
WLAN ステータス（無線 LAN のみ）	104
デフォルトの設定.....	105
有線対応（有線 LAN のみ）	106
WLAN 対応（無線 LAN のみ）	107
Wi-Fi Direct.....	108
ネットワークリセット	109
セキュリティ.....	110
本製品の設定値のロックについて	111
ロックの設定の使用について	112
ネットワークセキュリティ機能を使用する前に.....	118
サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について	119
セキュリティプロトコル	120
E-mail を送信するためのセキュリティ方式について	121
ウェブブラウザ設定（ウェブブラウザ）を使用してネットワーク製品を安全に管理する	122
安全な E-mail の送信について	124
ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送信を設定する	125
ユーザー認証を使用した E-mail 送信について	126
用語集	127

本ガイドの使い方

- ・ [推奨ブラウザ](#)
- ・ [対象となるモデル](#)
- ・ [マークについて](#)
- ・ [編集ならびに出版における通告](#)
- ・ [重要事項](#)

推奨ブラウザ

本ガイドを表示する場合、以下のウェブブラウザのご使用を推奨します。

OS	推奨ブラウザ
Windows®	Internet Explorer® 8.0/9.0/10.0 Mozilla® Firefox®
Macintosh®	Safari® 5.1/6.0

どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。



関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)

対象となるモデル

本ガイドは、以下のモデルを対象としています。

MultiWriter 5150/MultiWriter 5140



関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)
-

マークについて

本ガイドでは、以下の記号と規則を使用しています。



ヒントのアイコンは、便利なヒントや補足情報を示しています。

関連情報

関連情報はページ内の情報に加え、参照いただきたいページへのリンクを示しています。



関連情報

・ [本ガイドの使い方](#)

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。

また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

© NEC Corporation 2015. All rights reserved.



関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)
-

重要事項

- 本製品の使用は、購入された国内でのみ許可されています。購入された国以外で本製品を使用しないでください。使用すると、当該国の無線通信および電力規制に違反する場合があります。
- 本文中の Windows Server® 2003 は、Windows Server® 2003、Windows Server® 2003 x64 Edition、Windows Server® 2003 R2 および Windows Server® 2003 R2 x64 Edition を指します。
- 本文中の Windows Server® 2008 は、Windows Server® 2008 および Windows Server® 2008 R2 を指します。
- 特に記載のない限り、本ガイドに掲載の画面には、Windows® 7 および OS X® v10.7.x の画面を使用しています。コンピューターに表示される画面は、お使いのオペレーティングシステムによって異なる場合があります。



関連情報

- ・ [本ガイドの使い方](#)
-

ネットワーク

- はじめに
- ネットワーク接続タイプの選択について
- ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について
- 本製品のネットワーク設定について
- 無線 LAN 設定方法について
- 高度なネットワーク機能について
- 上級ユーザーのための技術的な情報について
- トラブルシューティング
- 操作パネルのネットワークメニューについて

はじめに

ネットワークの設定および起動には、本製品のインストーラを使用することをお勧めします。本ガイドでは、ネットワークの接続タイプを詳細に記載しています。また、さまざまなネットワーク管理方法や、本製品のネットワーク機能について説明しています。

- サポート対象の基本ネットワーク機能について

サポート対象の基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS によって、サポートする機能が異なります。一覧表で、○印のついたネットワーク機能が各 OS でサポートされるネットワーク機能となります。

オペレーティングシステム	Windows Vista® Windows® 7 Windows® 8	Windows Server® 2003/2008/2012/2012 R2	OS X® v10.7.5 OS X® v10.8.x OS X® v10.9.x
印刷	○	○	○
BRAdmin Light	○	○	○
ウェブブラウザ設定	○	○	○
ステータスマニター	○	×	○
Vertical Pairing (Windows® 7 および Windows® 8 のみ)	○	×	×



- BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をダウンロードします。



関連情報

- ・ [はじめに](#)

ネットワーク接続タイプの選択について

使用しているネットワーク接続タイプ（有線 LAN、または無線 LAN）を特定する必要があります。

- [有線 LAN 接続について](#)
- [無線 LAN 接続について](#)

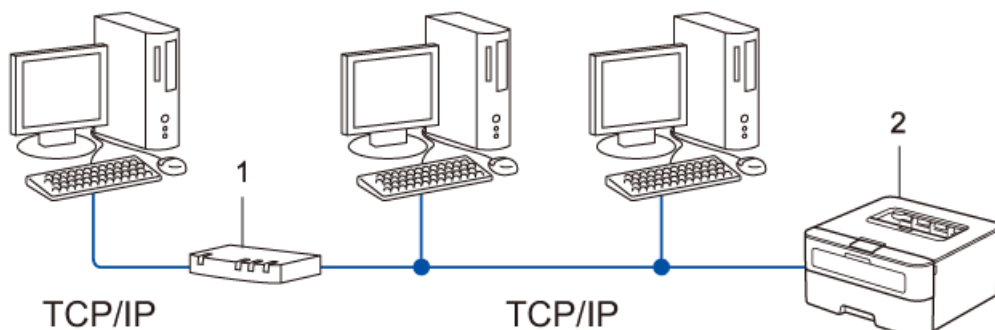
有線 LAN 接続について

使用している有線 LAN の接続タイプが、ピアツーピアまたはネットワーク共有環境のどちらかを特定します。

- [TCP/IP を使用するピアツーピア印刷について](#)
- [ネットワーク共有印刷](#)

TCP/IP を使用するピアツーピア印刷について

ピアツーピア環境では、各パソコンと各機器との間で直接データの送受信が行われます。ファイルのアクセスやプリンターの共有を管理している中心的なサーバーは存在しません。



1. ルーター
2. 本製品



- 2～3 台のパソコンが接続される小規模ネットワークでは、ピアツーピアの印刷方法をお勧めします。この方法では、ネットワーク共有の印刷方法よりも、設定が簡単に行えます。
- 各パソコンが TCP/IP プロトコルを使用している必要があります。
- 本製品には、必ず適切な IP アドレスを設定します。
- ルーターを使用している場合は、使用するパソコンと本製品にゲートウェイアドレスを設定する必要があります。

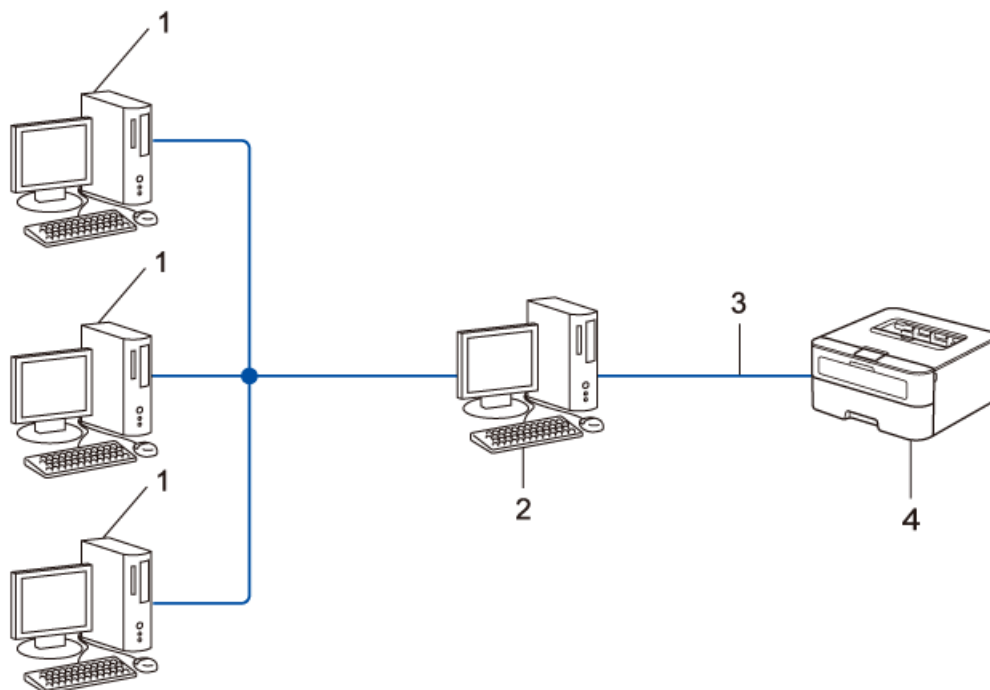


関連情報

- ・ [有線 LAN 接続について](#)

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有環境では、各パソコンが集中管理されたパソコン経由でデータを送信します。この種類のパソコンは通常「サーバー」または「プリントサーバー」と呼ばれます。このパソコンですべての印刷ジョブが管理されます。



1. クライアントパソコン
2. プrintサーバー
3. イーサネットケーブル、USB、またはパラレル（利用可能な場合）
4. 本製品



- 大規模ネットワークでは、ネットワーク共有印刷環境をお勧めします。
- プrintサーバーでは、必ず TCP/IP プロトコルを使用してください。
- USB またはパラレルインターフェース経由でサーバーに接続しない場合は、本製品に適切な IP アドレスを設定する必要があります。



関連情報

- ・ [有線 LAN 接続について](#)

無線 LAN 接続について

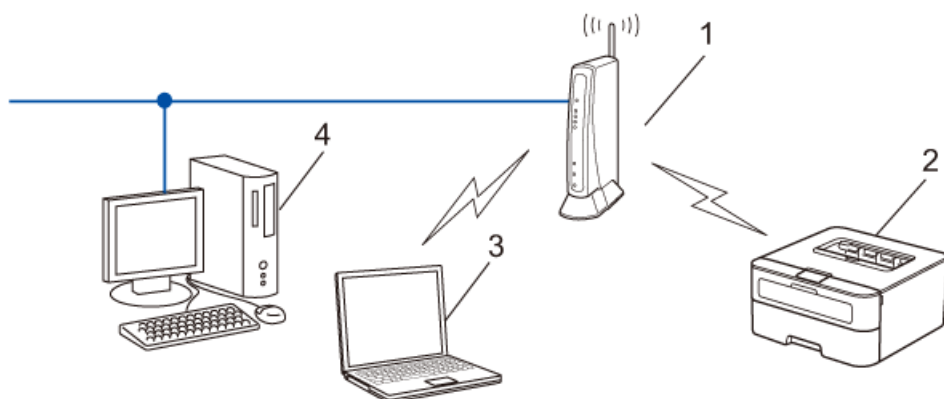
使用している無線 LAN の接続タイプが、インフラストラクチャモード、アドホックモード、または Wi-Fi Direct モードのどれであることを特定します。

- ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続（インフラストラクチャモード）
- ネットワーク内に無線 LAN アクセスポイントがない場合の接続（アドホックモード）
- Wi-Fi Direct

ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続（インフラストラクチャモード）

関連モデル: MultiWriter 5150

インフラストラクチャモードは、各無線 LAN 端末が無線 LAN アクセスポイントを経由することによって、データ通信を行う通信方法です。無線 LAN アクセスポイントは、有線 LAN にも機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、すべての印刷ジョブを、無線 LAN アクセスポイントを経由してから本製品が受け取ります。



1. 無線 LAN アクセスポイント/ルーター
2. 本製品
3. 無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続しているパソコン
4. ネットワークケーブルを使用して無線 LAN アクセスポイント/ルーターに接続しているパソコン

設定方法

無線 LAN 環境で本製品を設定する方法を以下から選択します。

- ・ パソコンのセットアップウィザードを使用する無線設定（推奨）
- ・ 操作パネルのセットアップウィザードを使用する無線設定
- ・ WPS または AOSS™を使用するワンプッシュ無線設定
- ・ WPS を使用する PIN 方式無線設定

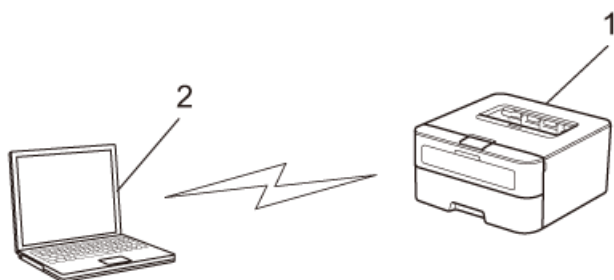
✓ 関連情報

- ・ [無線 LAN 接続について](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™（WPS）または AOSS™を使用した、本製品への無線 LAN の設定について](#)
- ・ [SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する](#)

ネットワーク内に無線 LAN アクセスポイントがない場合の接続（アドホックモード）

関連モデル: MultiWriter 5150

このタイプのネットワークには、中心的な無線 LAN アクセスポイント/ルーターは存在しません。各無線クライアントは互いに直接通信します。本製品がこのネットワークの一部である場合、印刷データを送信しているパソコンから、すべてのプリントジョブを直接受信します。



1. 本製品
2. 無線 LAN 対応パソコン

アドホックモードにおける、Windows Server[®]製品との安全な無線 LAN 接続は保証できません。

✓ 関連情報

- ・ [無線 LAN 接続について](#)
- ・ [アドホックモードで無線 LAN を設定する（IEEE 802.11b/g/n の場合）](#)

ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について

ユーティリティソフトを使用して、本製品のネットワークの設定や変更をします。下記どちらかの方法で設定できます。

- BRAdmin Light (Windows®および Macintosh®)
- ウェブブラウザ設定

✓ 関連情報

- ・ ネットワーク
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて
- ・ BRAdmin Light について (Windows®および Macintosh®)
- ・ ウェブブラウザ設定について

ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて

- [BRAdmin Light について（Windows®および Macintosh®）](#)
- [ウェブブラウザ設定について](#)

BRAdmin Light について (Windows®および Macintosh®)

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された機器の初期設定を行うためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品の検索、ステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をダウンロードします。



- アンチウイルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。試し刷りをし、印刷が可能であることを確認してから、再び設定を有効にしてください。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について

ウェブブラウザ設定について

お使いの標準ウェブブラウザで HTTP を使用して、ネットワークに接続した本製品を管理することができます。本製品の IP アドレスをお使いのウェブブラウザに入力して、本製品の設定の確認や変更を行うことができます。



- Windows®の場合は Microsoft® Internet Explorer® 8.0/9.0/10.0 を、Macintosh®の場合は Safari® 5.0/6.0 を推奨します。どのウェブブラウザの場合も、JavaScript および CSS を有効にして使用してください。上記以外のウェブブラウザを使用する場合は、HTTP 1.0 および HTTP 1.1 と互換性があることを確認してください。
- TCP/IP プロトコルを使用しプリントサーバーとパソコンで有効な IP アドレスを設定してください。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティについて
- ・ ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について
- ・ ウェブブラウザ設定にアクセスする
- ・ ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する

ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、本製品のソフトウェアをインストールし、適切な TCP/IP ネットワークを設定する必要があります。

ソフトウェアのインストーラを使用し、指示に従ってソフトウェアとネットワークのインストールを行ってください。

インストーラを使用しない場合、または使用できない場合は、ウェブブラウザで設定いただけます。**関連情報**をご覧ください。



関連情報

- ・ [ネットワーク管理ソフトウェアとユーティリティの使い方について](#)
- ・ [BRAdmin Light をインストールする](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定にアクセスする](#)

BRAdmin Light をインストールする

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. お使いのパソコンの電源を入れます。
設定を開始する前に、すべてのアプリケーションを終了します。
3. 付属の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに挿入します。
4. モデル名画面が表示されたら、本製品を選択します。
5. 言語の画面が表示されたら、使用する言語を選択します。
CD-ROM のメインメニューが表示されます。
6. カスタムインストールをクリックします。
7. **BRAdmin Light** をクリックして、画面に表示される指示に従ってインストールします。



インストール画面がパソコンに表示されない場合は、以下の操作を行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)
コンピューターから、**CD-ROM** アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。
- (Windows® 8)
タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、コンピューター (PC) にアクセスします。**CD-ROM** アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて
- ・ BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す (Windows®および Macintosh®)

ウェブブラウザ設定にアクセスする

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例 : http://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Macintosh®の場合、ステータスマニター画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、をクリックします。

以上でプリントサーバーの設定を変更する準備が整いました。

プロトコルの設定を変更した場合、OK をクリック後、本製品を再起動し、設定を有効にする必要があります。



関連情報

- ・ ネットワーク管理ソフトウェアおよびユーティリティのインストールとアクセスについて
- ・ ウェブブラウザ設定のログインパスワードを設定する
- ・ ウェブブラウザ設定について
- ・ ネットワーク設定レポートを印刷する

ウェブブラウザ設定のログインパスワードを設定する

ウェブブラウザ設定への非承認アクセスを防止するために、ログインパスワードを設定することをお勧めします。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例 : http://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Macintosh®の場合、ステータスマニター画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、をクリックします。
4. **管理者設定**をクリックします。
5. 使用するパスワードを入力します (最大 32 文字)。
6. パスワードを再入力します。
7. **OK** をクリックします。

今後は、ウェブブラウザ設定にアクセスする度に、**ログインボックス**にパスワードを入力し、をクリックします。

設定後、をクリックしてログオフします。



- ログインパスワードを設定していない場合、本製品のウェブページでパスワードを設定してくださいをクリックしてパスワードを設定することもできます。



関連情報

- [ウェブブラウザ設定にアクセスする](#)

本製品のネットワーク設定について

操作パネル、BRAdmin Light、またはウェブブラウザ設定を使用して、本製品のネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなど）を変更できます。

- 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する
- ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する
- BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す（Windows®および Macintosh®）

■ ホーム > ネットワーク > 本製品のネットワーク設定について > 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する

操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク]を選択し、OK を押します。
2. 設定を行うメニューの選択項目に進みます。



関連情報

- ・ [本製品のネットワーク設定について](#)
 - ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
-

ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例 : http://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Macintosh®の場合、ステータスマニター画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、をクリックします。

ネットワークの設定を変更することができます。

プロトコルの設定を変更した場合、OK をクリックして本製品を再起動し、設定を有効にする必要があります。



関連情報

- ・ 本製品のネットワーク設定について
- ・ ウェブブラウザ設定について
- ・ ネットワーク設定レポートを印刷する
- ・ ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- ・ サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について

BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す (Windows®および Macintosh®)

- BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をダウンロードします。
- アンチウイルスソフトのファイアーウォール機能が設定されている場合、一時的にファイアーウォール機能を無効にしてください。試し刷りをし、印刷が可能であることを確認してから、再び設定を有効にしてください。
- ノード名：ノード名は、BRAdmin Light 画面に表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。(「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。)
- 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力します。

1. BRAdmin Light をインストールします。

2. BRAdmin Light を起動します。

- (Windows Vista®, Windows® 7、Windows Server® 2003 および Windows Server® 2008)

 (スタート) > すべてのプログラム > NEC > BRAdmin Light > BRAdmin Light をクリックします。

- (Windows® 8、Windows Server® 2012 および Windows Server® 2012 R2)

 (BRAdmin Light) をダブルクリックします。

- (Macintosh®)

ダウンロードしたフォルダを選択して、 BRAdmin Light.jar アイコンをダブルクリックします。

BRAdmin Light は自動的に機器を検索します。

3. 設定を変更するプリントサーバーをダブルクリックします。



- お買い上げ時の設定 (DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用していない場合) では、本製品は BRAdmin Light に**未設定**と表示されます。未設定の機器をダブルクリックします。
- ネットワーク設定レポートを印刷して、ノード名および MAC アドレス (イーサネットアドレス) を確認できます。操作パネルでも、MAC アドレスを確認できます。

4. パスワードを設定している場合は入力し、**OK** をクリックします。

以上でネットワークの設定を変更する準備が整いました。



関連情報

- ・ [本製品のネットワーク設定について](#)
- ・ [BRAdmin Light をインストールする](#)
- ・ [ネットワーク設定レポートを印刷する](#)
- ・ [ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする](#)

無線 LAN 設定方法について

本製品を無線 LAN に接続するには、インストーラのご使用をお勧めします。

- 無線 LAN の設定を行う前に
- USB ケーブルを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- インストーラアプリケーションを使用して、USB ケーブルを使用しないで本製品に無線 LAN を設定する
- Wi-Fi Protected Setup™（WPS）または AOSS™を使用した、本製品への無線 LAN の設定について
- Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する
- アドホックモードで無線 LAN を設定する（IEEE 802.11b/g/n の場合）
- 本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する
- Wi-Fi Direct の使用について

無線 LAN の設定を行う前に

関連モデル: MultiWriter 5150

無線 LAN の設定を行う前に以下の内容を確認してください。

- 最良の印刷結果を得るため、本製品をできるだけ無線 LAN アクセスポイント/ルーターに近づけ、障害物から遠ざけてください。本製品とアクセスポイントやルーターの間に大きな物や壁、他の電子機器からの干渉があると、印刷する原稿のデータ転送速度が遅くなる可能性があります。

そのため、接続方法として、必ずしも最適というわけではありません。複数の種類のテキストが混在する原稿や、大型グラフィックスが使われている原稿といった、大きなサイズのファイルを印刷する場合は、データ転送速度のより速い有線の Ethernet や、処理能力の速い USB の使用を検討してください。

- 本製品は有線 LAN および無線 LAN のどちらでも使用できますが、両方の種類のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続の組み合わせ、または有線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続の組み合わせは同時に使用できます。
- 無線設定を行う前に、お使いのネットワーク名（SSID）とネットワークキーをあらかじめ入手しておく必要があります。
- SSID およびネットワークキーがわからない場合は無線セットアップは設定できません。



関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)

USB ケーブルを使用して、本製品に無線 LAN を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

USB ケーブルを使用して、本製品をお使いの無線 LAN に接続します。接続が確立されたら、USB ケーブルを外します。

1. パソコンの電源を入れ、インストーラ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
 - Windows® の場合は CD-ROM の指示に従ってください。
 - Macintosh® の場合は、**Driver Download** をクリックして、弊社公式サイトにアクセスします。画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。
2. 起動画面が自動的に表示されます。
モデル名画面が表示されたら、本製品を選択します。
3. CD-ROM のメインメニューが表示されます。 **プリンタードライバーのインストール** をクリックし、使用許諾契約に同意する場合は、**はい** をクリックします。
画面の指示に従います。



- (Windows Vista® および Windows® 7)

本製品の画面が自動的に表示されない場合は、**コンピューター** にアクセスしてください。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。

- (Windows® 8)

タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、**コンピューター (PC)** にアクセスします。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。

- **ユーザー アカウント制御** 画面が表示された場合は、以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®) **許可** をクリックします。
 - (Windows® 7/Windows® 8) **はい** をクリックします。

4. **無線 LAN 接続** を選択し、**次へ** をクリックします。
5. **NEC ピアツーピア ネットワークプリンター** または **ネットワーク共有プリンター** を選択し、**次へ** をクリックします。
6. **ネットワーク共有プリンター** を選択した場合は、**プリンターの参照画面** でお使いの製品のキューを選択し、**OK** をクリックします。
7. **ファイアウォールが検出されました** 画面で任意のファイアウォール設定のラジオボタンを選択し、**次へ** をクリックします。
8. **はい、USB ケーブルを持っています** ラジオボタンを選択して、**次へ** をクリックします。
9. 画面の指示に従って設定をします。



- **接続できる無線 LAN** 画面が表示されるとき、アクセスポイントが SSID を同報送信しないように設定している場合は、**詳細** ボタンをクリックすることで手動で SSID を追加することができます。画面の指示に従って **SSID (ネットワーク名)** を入力します。
- 無線セットアップに失敗したことを伝える画面が表示されたら、**再設定** をクリックして手順をやり直します。
- セットアップ中の操作に関して弊社のサービス窓口にお問い合わせの際は、SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーをご準備ください。この情報に関しては問い合わせいただいても回答できません。
- SSID およびネットワークキーがわからない場合は無線セットアップは設定できません。
- 無線アクセスポイント/ルーターの説明書を確認してください。
- 初期設定の SSID は、製造業者の名前またはモデル名になっています。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

無線セットアップが完了したあと、インストーラプログラムはプリンタードライバーのインストールへ進みます。
インストールダイアログボックスの **次へ** をクリックし、画面の指示に従います。



関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)

インストーラーアプリケーションを使用して、USB ケーブルを使用しないで本製品に無線 LAN を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

本製品をお使いの無線 LAN に無線で追加します。

1. パソコンの電源を入れ、インストーラ CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
 - Windows® の場合は、これらの指示に従ってください。
 - Macintosh® の場合は、**Driver Download** をクリックして、弊社公式サイトにアクセスします。画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールします。
2. 起動画面が自動的に表示されます。
モデル名画面が表示されたら、本製品を選択します。
3. CD-ROM のメインメニューが表示されます。 **プリンタードライバーのインストール** をクリックし、使用許諾契約に同意する場合は、**はい** をクリックします。
画面の指示に従います。



- (Windows Vista® および Windows® 7)

本製品の画面が自動的に表示されない場合は、**コンピューター** にアクセスしてください。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。

- (Windows® 8)

タスクバーの  (エクスプローラー) アイコンをクリックし、**コンピューター (PC)** にアクセスします。CD-ROM アイコンをダブルクリックし、**start.exe** をダブルクリックします。

- **ユーザー アカウント制御**画面が表示された場合は、以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows Vista®) **許可** をクリックします。
 - (Windows® 7/Windows® 8) **はい** をクリックします。

4. **無線 LAN 接続** を選択し、**次へ** をクリックします。
5. **NEC ピアツーピア ネットワークプリンター** または **ネットワーク共有プリンター** を選択し、**次へ** をクリックします。
6. **ネットワーク共有プリンター** を選択した場合は、**プリンターの参照画面** でお使いの製品のキューを選択し、**OK** をクリックします。
7. **ファイアウォールが検出されました** 画面で任意のファイアウォール設定のラジオボタンを選択し、**次へ** をクリックします。
8. **いいえ、USB ケーブルを持っていません** ラジオボタンを選択して、**次へ** をクリックします。
9. 画面の指示に従って設定をします。



- セットアップ中の操作に関して弊社のサービス窓口にお問い合わせの際は、SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーをご準備ください。この情報に関しては問い合わせいただいても回答できません。
- この情報 (SSID およびネットワークキー) がわからない場合は無線セットアップは設定できません。

この情報はどこに載っていますか？

- 無線アクセスポイント/ルーターの説明書を確認してください。
- 初期設定の SSID は、製造業者の名前またはモデル名になっています。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

無線セットアップが完了した後、インストーラプログラムはプリンタードライバーのインストールへ進みます。インストールダイアログボックスの**次へ**をクリックし、画面の指示に従います。



関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™ を使用した、本製品への無線 LAN の設定について

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが、WPS (プッシュボタン設定) または AOSS™ のどちらかをサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS または AOSS™ を使用して、無線 LAN を設定することができます。



- WPS をサポートしているルーターまたはアクセスポイントは、次のロゴマークで示されます。



- AOSS™ をサポートしているルーターまたはアクセスポイントは、次のロゴマークで示されます。



関連情報

- ・ 無線 LAN 設定方法について
- ・ WPS または AOSS™ のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について
- ・ ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続 (インフラストラクチャモード)

WPS または AOSS™ のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について

関連モデル: MultiWriter 5150

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線LAN] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[WPS/AOSS] を選択し、**OK** を押します。
4. [無線LAN ユニーク?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押してオンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、**Back** を押します。
5. 液晶ディスプレイに [AP/ホスト名] と表示されたら、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの、WPS または AOSS™ ボタンを押します。本製品の操作パネルで ▲ を押すと、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが使用しているモード (WPS または AOSS™) を本製品が自動的に検出し、この無線 LAN への接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セツク セイコ] と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート (無線 LAN レポート) が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認し、無線 LAN レポートのエラーコードについてに記載された解決方法を実行してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows® の場合 :

[セツク セイコ] と表示されたら、無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh® の場合 :

[セツク セイコ] と表示されたら、無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) または AOSS™ を使用した、本製品への無線 LAN の設定について
- ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの無線 LAN のアクセスポイント/ルーターが WPS をサポートしている場合、暗証番号 (PIN : Personal Identification Number) 方式を使用して無線 LAN を設定できます。

PIN 方式は、Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。加入者 (本製品) により作成された PIN を、登録機関 (無線 LAN を管理する機器) に送信することにより、無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。



関連情報

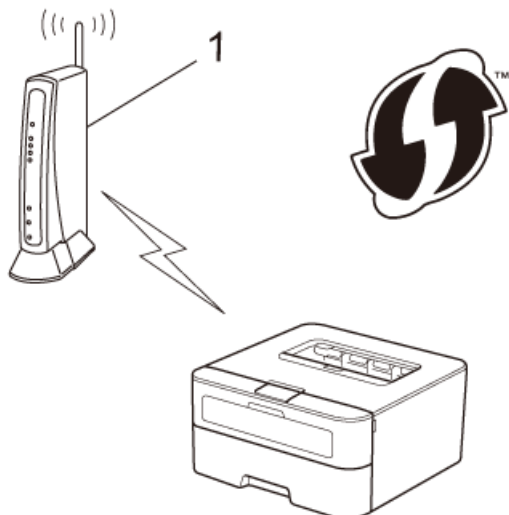
- ・ 無線 LAN 設定方法について
- ・ Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使った 2 種類の無線 LAN 接続方法
- ・ Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して無線 LAN を設定する方法
- ・ ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続 (インフラストラクチャモード)
- ・ Vertical Pairing の使用時にインフラストラクチャモードの印刷に使用されるプリンタードライバーをインストールする (Windows® 7 および Windows® 8)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使った 2 種類の無線 LAN 接続方法

関連モデル: MultiWriter 5150

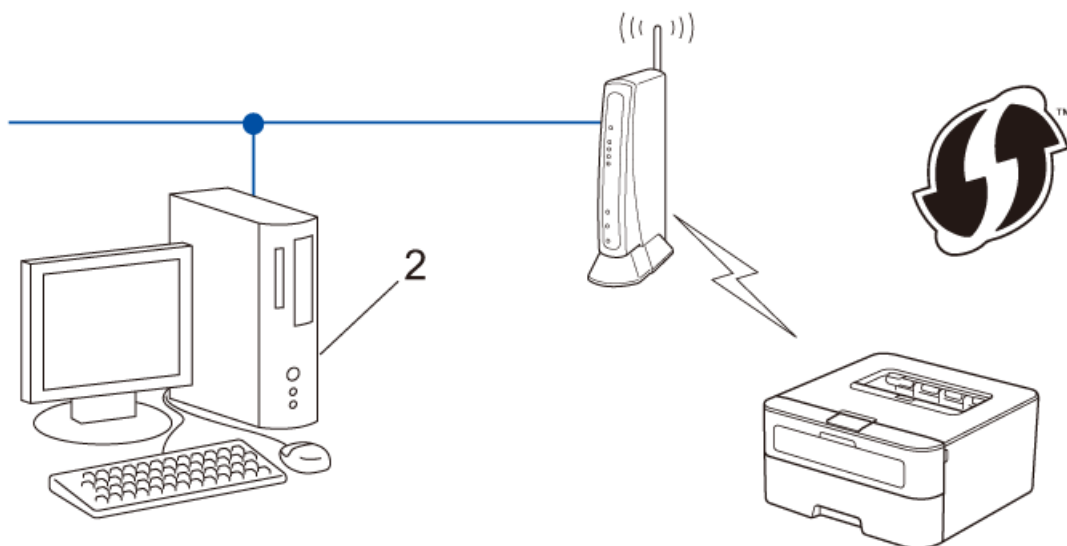
使用例 A

無線 LAN アクセスポイント/ルーター (1) がレジストラ (登録管理機器) を兼用する場合



使用例 B

パソコンなどの別の機器 (2) がレジストラ (登録管理機器) として使用される場合





WPS をサポートしているルーターまたはアクセスポイントには、次のロゴが表示されます。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する](#)
-

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して無線 LAN を設定する方法

関連モデル: MultiWriter 5150

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[WPS (PINコード)] を選択し、**OK** を押します。
4. [無線 LAN 有効?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押してオンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、**Back** を押します。
5. LCD には 8 桁の PIN が表示され、製品は LAN アクセスポイント/ルーターの検索を開始します。
6. ネットワーク上のパソコンを使用して、お使いのブラウザに「http://アクセスポイントの IP アドレス」を入力します（「アクセスポイントの IP アドレス」の部分には、レジストラ（登録管理機器）として使用されている機器の IP アドレスを入力します）。
7. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。



- レジストラ（登録管理機器）は通常、無線 LAN アクセスポイント/ルーターです。
- 設定ページは、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの種類により異なります。詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。

Windows Vista®、Windows® 7、または Windows® 8 パソコンをレジストラ（登録管理機器）として使用している場合、以下の手順をすべて行ってください。

8. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®)



(スタート) > ネットワーク > ワイヤレス デバイスの追加をクリックします。

- (Windows® 7)



(スタート) > デバイスとプリンター > デバイスの追加をクリックします。

- (Windows® 8)

マウスを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター > デバイスの追加**をクリックします。



- Windows Vista®、Windows® 7、または Windows® 8 パソコンをレジストラ（登録管理機器）として使用する場合、使用するパソコンをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。
- Windows® 7 または Windows® 8 をレジストラ（登録管理機器）として使用する場合、以下の画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタードライバーをインストールできます。プリンタードライバーとソフトウェアの完全なパッケージをインストールするには、インストーラ CD-ROM 上のインストーラを使用します。

9. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。
10. 製品の LCD に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。
11. お使いのネットワークを選択して、**次へ**をクリックします。
12. **閉じる**をクリックします。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに[セツク セイウ]と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート（無線 LAN レポート）が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する](#)
 - ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
-

アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)

- 新しい SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- 既存の SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- ネットワーク内に無線 LAN アクセスポイントがない場合の接続 (アドホックモード)

新しい SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

新しい SSID を使用する場合、他のすべての機器は、割り当てられる SSID を使用して本製品に接続されます。アドホックモードに設定する場合は、お使いのパソコンからこの SSID に接続する必要があります。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セツク ウィザード] を選択し、**OK** を押します。
4. [無線 LAN ユーザー?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押してオンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、**Back** を押します。
5. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[<New SSID>] を選択し、**OK** を押します。
6. SSID 名を入力し、**OK** を押します。
7. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[アドホック] を選択し、**OK** を押します。
8. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、暗号化タイプを [なし] または [WEP] から選択し、**OK** を押します。
9. 暗号化方式に [WEP] を選択した場合、WEP キーを入力して、**OK** を押します。



複数の WEP キーを設定されている場合でも、本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

10. 設定値を適用するには、操作パネルの ▲ を押します。解除するには、▼ を押します。
11. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セツク セイウ] と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート (無線 LAN レポート) が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows® の場合 :

無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh® の場合 :

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ アドホックモードで無線 LAN を設定する (IEEE 802.11b/g/n の場合)
- ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて

既存の SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

すでにアドホックモードであり、SSID が設定されているコンピューターに本製品を組み合わせる場合、以下の指示に従います。

本製品を設定する前に、お使いの無線 LAN の設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線 LAN 設定を確認して記録します。



現在接続しているパソコンの無線 LAN は、SSID が設定されたアドホックモードに設定する必要があります。お使いのパソコンをアドホックモードに設定する方法の詳細については、パソコンの説明書を参照するか、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ネットワーク名 (SSID)		
通信モード	暗号化モード	ネットワークキー
アドホック	なし	-
	WEP	

例 :

ネットワーク名 (SSID)		
HELLO		
通信モード	暗号化モード	ネットワークキー
アドホック	WEP	12345



本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セツク ウィザード] を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN オン?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押してオンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、**Back** を押します。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用したい SSID を選択します。
7. **OK** を押します。
8. WEP キーを入力し、**OK** を押します。
設定値を適用するには、操作パネルの ▲ を押します。解除するには、▼ を押します。



本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

9. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セツク 成功] と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート (無線 LAN レポート) が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ アドホックモードで無線 LAN を設定する（IEEE 802.11b/g/n の場合）
 - ・ 無線 LAN レポートのエラーコードについて
-

本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

本製品を設定する前に、お使いの無線 LAN の設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているパソコンの無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

ネットワークキー

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

ネットワークキー
12345



- セットアップ中の操作に関して弊社のサービス窓口にお問い合わせの際は、SSID（ネットワーク名）およびネットワークキーをご準備ください。この情報に関しては問い合わせいただいても回答できません。
- この情報（SSID およびネットワークキー）がわからない場合は無線セットアップは設定できません。

この情報はどこに載っていますか？

- 無線アクセスポイント/ルーターの説明書を確認してください。
- 初期設定の SSID は、製造業者の名前またはモデル名になっています。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線LAN] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セツク ウィザード] を選択し、**OK** を押します。
5. [無線LAN オン?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押してオンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、**Back** を押します。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用したい SSID を選択します。
7. **OK** を押します。
8. 以下のどれかを行ってください。
 - ネットワークキーを必要とする認証および暗号化方式を使用している場合、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。
WEP キーを入力し、**OK** を押して設定を適用します。
設定値を適用するには、操作パネルの ▲ を押します。解除するには、▼ を押します。
 - 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。
 - 使用している WLAN アクセスポイント/ルーターが WPS をサポートしている場合、[SSID/WPS リコネクト] が表示されます。自動無線モードを使用して本製品を接続するには、▲ を押します。([WPS] を選択する

場合、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。) [AP/WPSボタン]が表示されたら、WLAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押してから、▲を2回押します。

9. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに「セツク セイコウ」と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート（無線 LAN レポート）が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh®の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)
- ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

本製品を設定する前に、お使いの無線 LAN の設定値を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)			
通信モード	認証方式	暗号化モード	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム	なし	-
		WEP	
	共有キー	WEP	
	WPA/WPA2-PSK	AES	
		TKIP (TKIP は WPA-PSK でのみサポートされています。)	

例 :

ネットワーク名 (SSID)			
HELLO			
通信モード	認証方式	暗号化モード	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678



お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、OK を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN] を選択し、OK を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セッティング] を選択し、OK を押します。
5. [無線 LAN オン/オフ] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押してオンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。解除するには、Back を押します。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[<New SSID>] を選択し、OK を押します。
7. SSID 名を入力し、OK を押します。
8. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[インフラストラクチャ] を選択し、OK を押します。
9. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、使用する認証方式を選択し、OK を押します。
10. 以下のどれかを行ってください。
 - [オープンシステム セキュリティ] を選択した場合、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、暗号化タイプを [WEP] または [WEP] から選択し、OK を押します。
暗号化方式に [WEP] を選択した場合、WEP キーを入力して、OK を押します。
 - [共有キー セキュリティ] を選択した場合、WEP キーを入力し、OK を押します。
 - [WPA/WPA2-PSK] を選択した場合、操作パネルの ▲ または ▼ を押して、暗号化タイプを [TKIP+AES] または [AES] から選択し、OK を押します。
WPA キーを入力し、OK を押します。



本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。

11. 設定値を適用するには、操作パネルの ▲ を押します。解除するには、▼ を押します。
12. 本製品は、選択された無線機器との接続を開始します。

お使いの無線機器が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに「セツク セイコウ」と表示されます。お使いの製品の WLAN レポート（無線 LAN レポート）が、本製品により印刷されます。接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。



接続に失敗すると、本製品は有線 LAN インターフェースに戻ります。

Windows® の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。お使いの機器を操作するために必要なプリンタードライバーとソフトウェアをインストールするには、インストーラ CD-ROM のトップメニューページのプリンタードライバーのインストールをクリックします。

Macintosh® の場合：

無線 LAN のセットアップは完了しています。弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのソフトウェアダウンロードページから必要なプリンタードライバーとソフトウェアをダウンロードしてください。



関連情報

- ・ [無線 LAN 設定方法について](#)
- ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
- ・ [ネットワーク上の無線 LAN アクセスポイントを使った接続（インフラストラクチャモード）](#)

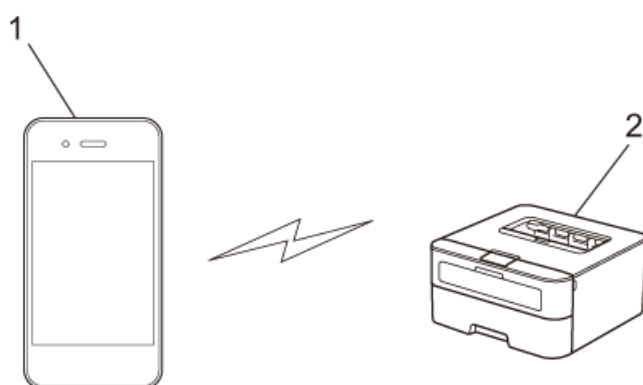
Wi-Fi Direct の使用について

- Wi-Fi Direct を使用した携帯端末からの印刷について
- Wi-Fi Direct の設定について

Wi-Fi Direct を使用した携帯端末からの印刷について

関連モデル: MultiWriter 5150

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance®により開発された無線設定方法の一つです。これにより、アクセスポイントを使用しないで、本製品と、Android™機器、Windows® Phone、iPhone®、iPod touch®、または iPad®などの携帯端末との間に、安全な無線 LAN を設定することができます。Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンタッチまたは PIN 方式を使用した無線 LAN の設定をサポートしています。また、SSID とパスワードの手動設定、無線 LAN の設定も可能です。本製品の Wi-Fi Direct 機能は、AES 暗号化を使用する WPA2™をサポートしています。



1. 携帯端末
2. 本製品



- 本製品は有線 LAN と無線 LAN のどちらのネットワークでも使用できますが、両方のネットワークを同時に使用することはできません。ただし、無線 LAN 接続と Wi-Fi Direct 接続、または有線 LAN 接続（サポート対象モデルのみ）と Wi-Fi Direct 接続は同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct をサポートしている機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct を設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の使用について](#)

Wi-Fi Direct の設定について

製品の操作パネルから、Wi-Fi Direct の設定をします。

- [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)
- [ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)

Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド

関連モデル: MultiWriter 5150

無線 LAN 環境で本製品を設定する 5 つの方法を以下に示します。お使いの環境に合わせて下記 **関連情報** から方法を選択してください。

設定する携帯端末を確認します。

1. お使いの携帯端末は Wi-Fi Direct をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	手順 2 に進みます。
いいえ	手順 3 に進みます。

2. お使いの携帯端末は Wi-Fi Direct のワンプッシュ設定をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	関連情報 をご覧ください：ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する
いいえ	関連情報 をご覧ください：PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

3. お使いの携帯端末は Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	手順 4 に進みます。
いいえ	関連情報 をご覧ください：Wi-Fi Direct を手動で設定する

4. お使いの携帯端末は Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ設定をサポートしていますか？

オプション	説明
はい	関連情報 をご覧ください：ワンプッシュ方式および Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) を使用して Wi-Fi Direct を設定する
いいえ	関連情報 をご覧ください：Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する](#)
- ・ [Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する](#)

ワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ワンプッシュ セットアップ] を選択し、**OK** を押します。
4. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押して受け入れます。解除するには、▼ を押します。
5. [アイワ デバイス / Wi-Fi Direct セットアップ ユーティリティ OK ボタン ユーティリティ] が本製品の液晶ディスプレイに表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いの携帯端末の説明書を参照）。製品の **OK** を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、**Back** を押します。
6. 以下のどちらかを行ってください。
 - 本製品がグループオーナーの場合、お使いの携帯端末を本製品に直接接続します。
 - 本製品がグループオーナーではない場合、Wi-Fi Direct の設定が可能な機器の名前が表示されます。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、接続したい携帯端末を選択し、**OK** を押します。[リサーチ] を押して、利用可能な機器を再検索します。
7. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セットアップ 完了] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷の詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの携帯端末が WPS (PBC: プッシュボタン設定) をサポートしている場合、以下の手順に従い Wi-Fi Direct ネットワークを設定します。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[グループ オナー] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[w] を選択し、**OK** を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[プッシュボタン セツク] オプションを選択し、**OK** を押します。
6. [Wi-Fi Direct w?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押して受け入れます。解除するには、▼ を押します。
7. [アイテリ デバイス / Wi-Fi Directセッテイ ユウウニシ OKボタン ユ オシタダサイ] が本製品の LCD に表示されたら、携帯端末の WPS ワンプッシュ設定方式を有効にします (有効化の手順については、お使いの携帯端末のユーザーズガイドを参照)。製品の **OK** を押します。

これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、**Back** を押します。

8. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セツク セイコウ] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷の詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの携帯端末が Wi-Fi Direct の PIN 方式をサポートしている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[PINコード セツク] を選択し、**OK** を押します。
4. [Wi-Fi Direct ㊦?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押して受け入れます。解除するには、▼ を押します。
5. [アイワリ デバイス / Wi-Fi Direct セツク ユウウニシ OK ボタン ユ オシダサイ] が本製品の液晶ディスプレイに表示されたら、携帯端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いの携帯端末の説明書を参照）。製品の **OK** を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除するには、**Back** を押します。
6. 以下のどちらかを行ってください。
 - 本製品がグループオーナーの場合、携帯端末からの接続要求を待ちます。[PIN Code ニリヨク] が表示されたら、携帯端末に表示された PIN を本製品に入力します。**OK** を押してセットアップを完了させます。
本製品に PIN が表示されたら、表示された PIN を携帯端末に入力します。
 - 本製品がグループオーナーではない場合、Wi-Fi Direct の設定が可能な機器の名前が表示されます。操作パネルの ▲ または ▼ を押して、接続したい携帯端末を選択し、**OK** を押します。[リキヤン] を押して、利用可能な機器を再検索し、次の手順に進みます。
7. 以下のどちらかを行ってください。
 - 操作パネルの ▲ を押して本製品に PIN を表示し、表示された PIN を携帯端末に入力して、次の手順に進みます。
 - 操作パネルの ▼ を押して、携帯端末に表示された PIN を、本製品に入力します。**OK** を押して、次の手順に進みます。
8. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セツク セイウ] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷の詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページから、または AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して Wi-Fi Direct を設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの携帯端末で Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式がサポートされている場合、以下の手順に従って Wi-Fi Direct 設定します。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[グループ オナー] を選択し、**OK** を押します。
4. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[わ] を選択し、**OK** を押します。
5. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[PINコード セツク] を選択し、**OK** を押します。
6. [Wi-Fi Direct わ?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押して受け入れます。解除するには、▼ を押します。
7. [アイガワ デバイス / Wi-Fi Directセッテイ ヲ ユウウニシテ OKボタン ヲ オンタカサイ] が本製品の液晶ディスプレイに表示されたら、携帯端末の WPS PIN 設定方式を有効にします（有効化の手順については、お使いの携帯端末の説明書を参照）。**OK** を押します。

Wi-Fi Direct セットアップが起動します。解除する場合、**Back** を押します。

8. 製品は携帯端末からの接続要求を待ちます。[PIN Codeニウリヨク] が表示されたら、携帯端末に表示された PIN を、製品に入力します。
9. **OK** を押します。
10. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セツク セイコ] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷の詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。

✓ 関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの携帯端末で、Wi-Fi Direct または WPS が未サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セットアップ セットアップ] オプションを選択し、**OK** を押します。
4. [Wi-Fi Direct 有効?] が表示されたら、操作パネルの ▲ を押して受け入れます。解除するには、▼ を押します。
5. 本製品には SSID 名とパスワードが 2 分間表示されます。お使いの携帯端末の無線 LAN 設定画面で、この SSID 名とパスワードを入力します。
6. お使いの携帯端末が正常に接続されると、本製品の液晶ディスプレイに [セットアップ 完了] と表示されます。これにより Wi-Fi Direct のセットアップが完了しました。携帯端末からの印刷の詳細については、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルの製品マニュアルページから、AirPrint ガイドをダウンロードして参照してください。



関連情報

- ・ [Wi-Fi Direct の設定について](#)
- ・ [Wi-Fi Direct 設定の手順ガイド](#)

高度なネットワーク機能について

- ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定レポートを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワークプリントサーバーの設定値を含む、現在のネットワーク設定が一覧表示されます。



- ノード名：ノード名は、ネットワーク設定レポートに表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は「BRNxxxxxxxxxxxx」、無線 LAN の場合は「BRWxxxxxxxxxxxx」です。（「xxxxxxxxxxxx」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します。）
- ネットワーク設定レポートに表示される [IP Address] が 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。以下は一例です。
 - IP アドレス：192.0.2.1
 - サブネットマスク：255.255.255.0
 - ノード名：BRN000ca0000499
 - MAC アドレス：00-0c-a0-00-04-99

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セクション] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク設定] を選択します。
3. **OK** を押します。



関連情報

- ・ [高度なネットワーク機能について](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定にアクセスする](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する](#)
- ・ [BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す \(Windows® および Macintosh®\)](#)

上級ユーザーのための技術的な情報について

- サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について
- Windows®からのネットワーク設定の追加について
- 利用可能なサービス
- その他の IP アドレス設定方法について
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする
- WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する

サポート対象のプロトコルとセキュリティ機能について

イーサネット

10Base-T/100Base-TX

無線 LAN

IEEE 802.11b/g/n（インフラストラクチャモード/アドホックモード）、IEEE 802.11g/n（Wi-Fi Direct）

プロトコル（IP v 4）

ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA(Auto IP)、WINS/NetBIOS name resolution、DNS resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、Web Services (Print)

プロトコル（IP v 6）

NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/ Port 9100、IPP、FTP Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、Web Services (Print)

ネットワークセキュリティ（有線）

SMTP-AUTH、SNMP v3

ネットワークセキュリティ（無線）

SMTP-AUTH、SNMP v3

無線 LAN セキュリティ

WEP 64/128 bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）

無線認証

Wi-Fi Certification Mark License (WPA™/WPA2™ - Personal)、Wi-Fi Protected Setup (WPS) Identifier Mark License、AOSS Logo、Wi-Fi CERTIFIED Wi-Fi Direct



関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する](#)

Windows®からのネットワーク設定の追加について

- ネットワークの追加設定を行う前に
- ウェブサービスで印刷に使用するプリンタードライバーをインストールする（Windows Vista®、Windows® 7 および Windows® 8）
- ウェブサービスで印刷に使用するプリンタードライバーをアンインストールする（Windows Vista®、Windows® 7 および Windows® 8）
- Vertical Pairing の使用時にインフラストラクチャモードの印刷に使用されるプリンタードライバーをインストールする（Windows® 7 および Windows® 8）
- Vertical Pairing の使用時に Wi-Fi Direct の印刷に使用するプリンタードライバーをインストールする（Windows® 8.1）

ネットワークの追加設定を行う前に

以下のどちらかの機能を使用して、ネットワークの追加設定をします。

- 印刷用 Web Services (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows® 8)
- Vertical Pairing (Windows® 7 および Windows® 8)

✓ 関連情報

- ・ [Windows®からのネットワーク設定の追加について](#)

ウェブサービスで印刷に使用するプリンタードライバをインストールする (Windows Vista®, Windows® 7 および Windows® 8)

ウェブサービスを使用してネットワーク上のプリンターを監視します。

- ホストコンピューターと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
 - 設定を行う前に、本製品上で IP アドレスを設定する必要があります。
 - Windows Server® 2008、Windows Server® 2012 および Windows Server® 2012 R2 の場合、プリントサービスをインストールする必要があります。
1. 付属の CD-ROM を挿入します。
 2. エクスプローラーを開いて、お使いの CD-ROM ドライブに移動し、**install > driver > gdi > 32_64** を選択します。
 3. **dpinstx64.exe** または **dpinstx86.exe** をダブルクリックします。



- 32 ビットのパソコンを使用している場合、dpinstx86.exe を選択します。
- 64 ビットのパソコンを使用している場合、dpinstx64.exe を選択します。

4. ユーザー アカウント制御画面が表示された場合は、以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®)
許可をクリックします。
- (Windows® 7/Windows® 8)
はいをクリックします。

5. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®)



(スタート) > ネットワークをクリックします。

本製品のウェブサービス名とプリンターアイコンが表示されます。

インストールする製品を右クリックします。

- (Windows® 7)



(スタート) > コントロール パネル > ネットワークとインターネット > ネットワークのコンピューターとデバイスの表示をクリックします。

本製品のウェブサービス名とプリンターアイコンが表示されます。

インストールする製品を右クリックします。

- (Windows® 8)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > PC 設定の変更 > デバイス > デバイスを追加する**をクリックします。

本製品のウェブサービス名が表示されます。

- (Windows® 8.1)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > PC 設定の変更 > PC とデバイス > デバイス > デバイスを追加する**をクリックします。

本製品のウェブサービス名が表示されます。



- 本製品のウェブサービス名は、本製品のモデル名および MAC アドレス（イーサネットアドレス）です（例：PR-LXXXX（モデル名）[XXXXXXXXXXXX]（MAC アドレス/イーサネットアドレス））。
- （Windows® 8）
製品名にマウスのポインタを移動して、本製品の情報を表示します。

6. 以下のどちらかを行ってください。

- （Windows Vista®および Windows® 7）
本製品のドロップダウンメニューでインストールをクリックします。
- （Windows® 8）
インストールする製品を選択します。



関連情報

- ・ [Windows®からのネットワーク設定の追加について](#)

ウェブサービスで印刷に使用するプリンタードライバーをアンインストールする (Windows Vista®、Windows® 7 および Windows® 8)

1. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®)

 (スタート) > ネットワークをクリックします。

- (Windows® 7)

 (スタート) > コントロール パネル > ネットワークとインターネット > ネットワークのコンピューターとデバイスの表示をクリックします。

- (Windows® 8)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > PC 設定の変更 > デバイスをクリックします。

- (Windows® 8.1)

マウスをデスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > PC 設定の変更 > PC とデバイス > デバイスをクリックします。

2. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)

本製品のウェブサービス名とプリンターアイコンが表示されます。アンインストールする製品を右クリックします。

- (Windows® 8)

本製品のウェブサービス名が表示されます。アンインストールする製品を選択し、 (デバイスの削除) をクリックします。

3. 以下のどちらかを行ってください。

- (Windows Vista®および Windows® 7)

本製品のドロップダウンメニューでアンインストールをクリックします。

- (Windows® 8)

ダイアログボックスが表示されたら、画面の指示に従います。



関連情報

- ・ [Windows®からのネットワーク設定の追加について](#)

Vertical Pairing の使用時にインフラストラクチャモードの印刷に使用されるプリンタードライバーをインストールする (Windows® 7 および Windows® 8)

関連モデル: MultiWriter 5150

Windows® Vertical Pairing は、Vertical Pairing に対応した無線機器をインフラストラクチャネットワークに接続する技術で、この接続には WPS の PIN 方式と Web Services 機能が使用されます。**デバイスの追加画面**でプリンターアイコンから、プリンタードライバーをインストールできます。インフラストラクチャモードで、本製品を無線 LAN に接続し、この機能を使用してプリンタードライバーをインストールできます。

- ホストコンピューターと本製品が同一のサブネット上に存在すること、またはこれら 2 つの機器間のデータ通信ができるようにルーターが正しく設定されていることを確認します。
 - 本製品の Web Services 機能を無効にしている場合、Web Services チェックボックスを選択して、**OK** をクリックし、この機能を再び有効にします。本製品の Web Services のデフォルト設定が有効になります。Web Services の設定は、ウェブブラウザ設定を使用して変更できます。
 - お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに、Windows® 7 または Windows® 8 の互換ロゴがあることを確認してください。互換ロゴについて不明な場合は、アクセスポイントまたはルーターの製造業者にお問い合わせください。
 - お使いのコンピューターに、Windows® 7 または Windows® 8 の互換ロゴがあることを確認してください。互換ロゴについて不明な場合は、コンピューターの製造業者にお問い合わせください。
 - 外部の無線 LAN インターフェースカード (NIC) を使用して無線 LAN を設定している場合、無線 NIC に Windows® 7 または Windows® 8 の互換ロゴがあることを確認してください。詳細については、無線 NIC の製造業者にお問い合わせください。
 - Windows® 7 または Windows® 8 コンピューターをレジストラーとして使用する場合、使用するコンピューターをネットワークに事前に登録する必要があります。お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの説明書を参照してください。
1. 本製品の電源を入れます。
 2. 本製品を WPS モード (PIN 方式) に設定します。
 3. 以下のどちらかを行ってください。
 - (Windows® 7)
 (スタート) > デバイスとプリンター > デバイスの追加をクリックします。
 - (Windows® 8)
マウスポインタを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター > デバイスの追加**をクリックします。
 4. 本製品を選択し、PIN を入力します。
 5. 接続先のインフラストラクチャネットワークを選択し、**次へ**をクリックします。
 6. **デバイスとプリンター**ダイアログボックスに本製品が表示されると、無線設定とプリンタードライバーのインストールは完了しています。



関連情報

- [Windows®からのネットワーク設定の追加について](#)
- [Wi-Fi Protected Setup™ \(WPS\) の PIN 方式を使って無線 LAN を設定する](#)

Vertical Pairing の使用時に Wi-Fi Direct の印刷に使用するプリンタードライバをインストールする (Windows® 8.1)

関連モデル: MultiWriter 5150

Windows® 8.1 では、Vertical Pairing に対応した無線機器を、Wi-Fi Direct に接続することができます。この接続には WPS のワンプッシュまたは PIN 方式と Web Services 機能が使用されます。**デバイスの追加**画面でプリンターアイコンから、プリンタードライバをインストールできます。本製品を Wi-Fi Direct に接続し、この機能を使用してプリンタードライバをインストールすることができます。本製品は Windows® 8.1 に対応した Vertical Pairing の Persistent Group 機能もサポートしています。

- 本製品の Web Services 機能を無効にしている場合、Web Services チェックボックスを選択して、**OK** をクリックし、この機能を再び有効にします。本製品の Web Services のデフォルト設定が有効になります。Web Services の設定は、ウェブブラウザ設定を使用して変更できます。
 - お使いのコンピューターに、Windows® 8.1 の互換ロゴがあることを確認してください。互換ロゴについて不明な場合は、コンピューターの製造業者にお問い合わせください。
 - 外部の無線 LAN インターフェースカード (NIC) を使用して無線 LAN を設定している場合、無線 NIC に Windows® 8.1 の互換ロゴがあることを確認してください。詳細については、無線 NIC の製造業者にお問い合わせください。
1. 本製品の電源を入れます。
 2. 本製品の Wi-Fi Direct 機能を有効にします。
 3. マウスポインタを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、**設定 > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > デバイスとプリンター > デバイスの追加**をクリックします。
 4. 本製品を選択します。



お使いのコンピューターに WPS PIN の入力を要求するダイアログボックスが表示された場合は、本製品の液晶ディスプレイに表示される PIN を入力し、**次へ**をクリックします。

5. 本製品の Wi-Fi Direct プッシュボタンメニューを選択します。
6. **デバイスとプリンター**ダイアログボックスに本製品が表示されると、無線設定とプリンタードライバのインストールは完了しています。



関連情報

- ・ [Windows®からのネットワーク設定の追加について](#)

利用可能なサービス

サービス (例)	定義
BINARY_P1	TCP/IP バイナリ
TEXT_P1	TCP/IP テキストサービス (改行ごとにキャリッジリターンを追加)
PCL_P1	PCL サービス (P/L 互換製品を PCL モードに変換)
BRNxxxxxxxxxxxx ¹	TCP/IP バイナリ

¹ "xxxxxxxxxxxx"の部分がお使いの製品の MAC アドレス (イーサネットアドレス) です。



関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)

その他の IP アドレス設定方法について

- DHCP を使用した IP アドレスの設定について
- BOOTP を使用した IP アドレスの設定について
- RARP を使用した IP アドレスの設定について
- APIPA を使用した IP アドレスの設定について
- ARP を使って IP アドレスを設定する

DHCP を使用した IP アドレスの設定について

動的ホスト構成プロトコル（DHCP : Dynamic Host Configuration Protocol）は、IP アドレスの割り当て機能の一つです。お使いのネットワーク上に DHCP サーバーが存在する場合、プリントサーバーは DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得し、名前を RFC 1001 および 1002 に準拠した動的な名前サービスのどちらかに登録します。



DHCP を介してプリントサーバーの設定を行わない場合は、IP 取得方法を手動（Static（固定））に設定してください。こうすることで、プリントサーバーは自動的に IP アドレスを入手できなくなります。

IP 取得方法を変更するには、操作パネルの「ネットワーク」メニュー、BRAdmin アプリケーション、またはウェブブラウザ設定を使用します。



関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)

BOOTP を使用した IP アドレスの設定について

Bootstrap プロトコル (BOOTP) を使用して IP アドレスを設定する前に、本製品の IP 取得方法を必ず BOOTP に設定してください。IP 取得方法を変更するには、本製品の操作パネルの [ネットワーク] メニューまたは、BRAdmin Light を使用します。

BOOTP は、逆アドレス解決プロトコル (RARP : Reverse Address Resolution Protocol) の代替プロトコルで、サブネットマスクとゲートウェイの設定を可能にする利点があります。BOOTP を使用して IP アドレスを設定するには、お使いのホストコンピューター (ホストの [/etc/services] ファイルに、実際のサービスとして現れます。[man bootpd] と入力するか、お使いのシステムの説明書を参照してください) に BOOTP がインストールされ、動作している必要があります。BOOTP は通常、[/etc/inetd.conf] ファイルを介して起動されるため、そのファイル内の bootp エントリーの前にある「#」を削除して、BOOTP を有効にする必要があります。例えば、/etc/inetd.conf ファイルの一般的な bootp エントリーは、次のようになります。

```
[#bootp dgram udp wait /usr/etc/bootpd bootpd -i]
```

このエントリーは、システムによっては、「bootp」ではなく「bootps」が使用されている場合もあります。



BOOTP を有効にするには、エディターを使用して「#」を削除します (「#」がない場合は、BOOTP は既に有効になっています)。次に、BOOTP 設定ファイル (通常、[/etc/bootptab]) を編集し、ネットワークインターフェイスの名前、ネットワークタイプ (イーサネットの場合、1)、MAC アドレス (イーサネットアドレス) と IP アドレス、サブネットマスクとゲートウェイを入力します。ただし、この入力フォーマットは標準化されていないため、お使いのシステムの説明書を参照して入力方法を確認する必要があります (UNIX® システムの多くは、参照として使える bootptab ファイルにテンプレートの例を掲載しています)。一般的な [/etc/bootptab] エントリーの例を、以下に示します : (無線 LAN の場合は、「BRN」の部分を「BRW」にします)。

```
[BRN310107 1 00:80:77:31:01:07 192.0.2.1]
```

および

```
[BRN310107:ht=ethernet:ha=008077310107:\ip=192.0.2.1:]
```

BOOTP ホストソフトウェアの中には、ダウンロードするファイル名が設定ファイル内に含まれていないと、BOOTP リクエストに応答しないものがあります。そのような場合は、ホスト上に null ファイルを作成し、このファイルの名前とパスを設定ファイル内で指定します。

RARP での設定の場合と同じように、本製品の電源を入れると、BOOTP サーバーから IP アドレスが割り当てられます。



関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)

RARP を使用した IP アドレスの設定について

Reverse Address Resolution プロトコル (RARP) を使用して IP アドレスを設定する前に、本製品の IP 取得方法を必ず RARP に設定してください。IP 取得方法を変更するには、操作パネル、BRAdmin アプリケーション、またはウェブブラウザ設定を使用します。

本製品のプリントサーバーの IP アドレスは、お使いのホストコンピューターの RARP 機能を使用して設定できます。これは、以下の類似したエントリーを含む [/etc/ethers] ファイル（このファイルが存在しない場合は、作成可能）を編集してします。

```
[00:80:77:31:01:07 BRN008077310107]（無線 LAN の場合、[BRW008077310107]）
```

最初のエントリーはプリントサーバーの MAC アドレス（イーサネットアドレス）で、2 番目のエントリーはプリントサーバーの名前です。（この名前は、[/etc/hosts] ファイルに入力した名前と一致する必要があります。）

RARP デーモンが実行していない場合は、起動させます（コマンドはシステムによって異なり、rarpd、rarpd -a、in.rarpd -a、またはその他のコマンドとなります）。[man rarpd] を入力するか、システムの説明書を参照してください。Berkeley UNIX® ベース環境で RARP デーモンを確認するには、以下のコマンドを入力してください。

```
[ps -ax | grep -v grep | grep rarpd]
```

AT&T UNIX® ベースのシステムの場合、以下を入力します。

```
[ps -ef | grep -v grep | grep rarpd]
```

本製品の電源を入れると、RARP デーモンから IP アドレスが割り当てられます。

✓ 関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)

APIPA を使用した IP アドレスの設定について

本製品のプリントサーバーは、自動プライベート IP アドレス設定（APIPA）プロトコルをサポートしています。DHCP サーバーが利用できない場合、DHCP クライアントは APIPA を使用して、IP アドレスとサブネットマスクを自動的に設定します。本機器は自身の IP アドレスを、169.254.1.0 から 169.254.254.255 の範囲で選択します。サブネットマスクは 255.255.0.0 に、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に、自動的に設定されます。

デフォルトでは、APIPA プロトコルは有効になっています。APIPA プロトコルを無効にするには、操作パネル、BRAdmin アプリケーション、またはウェブブラウザ設定を使用します。

✓ 関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)

ARP を使って IP アドレスを設定する

BRAdmin Light およびネットワーク上で DHCP サーバーが利用できない場合は、アドレス解決プロトコル (ARP : Address Resolution Protocol) コマンドを利用して、IP アドレスを設定することができます。ARP コマンドは UNIX®システムと同様に、TCP/IP プロトコルがインストールされている Windows®システムでも使用することができます。ARP を使用するには、以下のコマンドを入力します。

```
[arp -s ipaddress ethernetaddress]
```

```
[ping ipaddress]
```

[ethernetaddress] はプリントサーバーの MAC アドレス (イーサネットアドレス)、および [ping ipaddress] はプリントサーバーの IP アドレスを入力します。

例 :

Windows®システム

Windows®システムでは、MAC アドレス (イーサネットアドレス) は、2 桁ずつハイフン (ダッシュ) 「-」で区切って表記されます。

```
[arp -s 192.0.2.1 00-80-77-31-01-07]
```

```
[ping 192.0.2.1]
```

UNIX®/Linux システム

通常、UNIX®および Linux システムでは、MAC アドレス (イーサネットアドレス) は、2 桁ずつコロン 「:」で区切って表記されます。

```
[arp -s 192.0.2.1 00:80:77:31:01:07]
```

```
[ping 192.0.2.1]
```



ARP コマンドを使用するには、ユーザーが同一のイーサネットセグメント上に存在する必要があります。プリントサーバーと OS の間にルーターを置くことはできません。

ルーターが存在する場合、BOOTP などの方法を使用して IP アドレスを設定してください。管理者が BOOTP、DHCP、または RARP を使用して IP アドレスを配信するようシステムを設定している場合、本製品のプリントサーバーは、これらの IP アドレス配布サーバーのどれかより IP アドレスを受け取ることができるため、ユーザーは ARP コマンドを使用する必要はありません。ARP コマンドは一度しか使用できません。セキュリティの理由から、ARP コマンドを使用して本製品のプリントサーバーの IP アドレスを正常に設定した場合、ARP コマンドを再度使用してこのアドレスを変更することはできません。プリントサーバーは、この場合の ARP コマンドをすべて無視します。IP アドレスを再度変更するには、ウェブブラウザ設定 TELNET (SET IP ADDRESS コマンド使用) を使用します。または、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻してください。



関連情報

- ・ [その他の IP アドレス設定方法について](#)
- ・ [DHCP を使用した IP アドレスの設定について](#)
- ・ [BOOTP を使用した IP アドレスの設定について](#)
- ・ [RARP を使用した IP アドレスの設定について](#)
- ・ [ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする](#)

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の状態にリセットします。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。



- すべての有線 LAN および無線 LAN の設定が、お買い上げ時の設定に戻ります。
- BRAdmin Light、ウェブブラウザ設定を使用して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[LANセッティ リセット] を選択し、**OK** を押します。
3. [ハイ] の ▲ を押します。
製品が再起動します。



関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- ・ [ARP を使って IP アドレスを設定する](#)
- ・ [ウェブブラウザ設定を使ってネットワーク設定を変更する](#)
- ・ [BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す \(Windows® および Macintosh®\)](#)

WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する

関連モデル: MultiWriter 5150

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が反映されます。無線接続に失敗した場合、印刷されたレポートでエラーコードを確認してください。

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セイン ジョウウ] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[無線 LAN レポート インサツ] を選択し、**OK** を押します。

製品は WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷します。



関連情報

- ・ [上級ユーザーのための技術的な情報について](#)
- ・ [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

無線 LAN レポートのエラーコードについて

関連モデル: MultiWriter 5150

無線 LAN レポート機能により接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	無線設定が有効になっていません。無線設定をオンにします。 ネットワークケーブルが本製品に接続されている場合、接続を外し、本製品の無線設定をオンにします。
TS-02	無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。 1. 以下の 4 つの内容を確認します。 - 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの電源が入っていることを確認する。 - 本製品を障害物のない場所に移動させるか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに近づける。 - 本製品を一時的に、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの 1 メートル以内に置き、無線の設定を行う。 - お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが MAC アドレスフィルターを使用している場合、本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されているか確認する。 2. SSID とセキュリティ情報（SSID/認証方式/暗号化方式/ネットワークキー）を手動で入力した場合、入力された情報が誤っている可能性があります。 SSID とセキュリティ情報を確認して、必要に応じて正しい情報を入力します。
TS-04	選択された無線 LAN アクセスポイント/ルーターが使用している認証/暗号化方式を、本製品がサポートしていません。 インフラストラクチャモードの場合、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの認証および暗号化方式を変更します。本製品は、以下の認証方式をサポートしています。 - WPA-Personal TKIP または AES - WPA2-Personal AES - Open WEP または None（暗号化なし） - 共有キー WEP 問題が解決しない場合は、入力した SSID またはネットワーク設定が誤っている可能性があります。無線 LAN 設定を確認してください。 アドホックモードの場合、無線設定に合わせて、お使いのパソコンの認証および暗号化方式を変更します。本製品はオープン認証方式のみをサポートし、WEP 暗号化は任意で使用されます。
TS-05	セキュリティ情報（SSID/ネットワークキー）に誤りがあります。 SSID およびネットワークキーを確認してください。お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。
TS-06	無線セキュリティ情報（認証方式/暗号化方式/ネットワークキー）に誤りがあります。 TS-04 に示した無線セキュリティ情報（認証方式/暗号化方式/ネットワークキー）を確認してください。お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品は最初の WEP キーのみをサポートします。
TS-07	本製品は、WPS または AOSS [™] が有効になっている無線 LAN アクセスポイント/ルーターを検出できません。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
	WPS または AOSS™を使用して無線設定を行う場合、本製品と無線 LAN アクセスポイント/ルーターの両方を設定する必要があります。お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターが、WPS または AOSS™をサポートしていることを確認して、再起動してください。 WPS または AOSS™を使用して無線 LAN アクセスポイント/ルーターを操作する方法が分からない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照するか、無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造元、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
TS-08	WPS または AOSS™が有効になっている無線 LAN アクセスポイントが 2 個以上検出されました。 ・ 範囲内で 1 個の無線 LAN アクセスポイント/ルーターのみで WPS または AOSS™方式がアクティブであることを確認して、再実行してください。 ・ 他のアクセスポイントからの干渉を避けるために、数分待ってから再起動してください。



関連情報

- ・ WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷する
- ・ WPS または AOSS™のワンプッシュ方式を使用して無線 LAN を設定する方法について
- ・ Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して無線 LAN を設定する方法
- ・ 既存の SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- ・ 新しい SSID を使用して、アドホックモードで本製品に無線 LAN を設定する
- ・ 本製品の操作パネルセットアップウィザードを使用して、本製品に無線 LAN を設定する
- ・ SSID が同報送信以外の場合の無線 LAN を本製品に設定する

■ トラブルシューティング

本製品をご使用の際に起こり得る一般的なネットワークの問題は、本章を参照して解決してください。

- [問題解決のための事前トラブルシューティングについて](#)
- [問題の特定と解決について](#)

問題解決のための事前トラブルシューティングについて

本製品の使用時にネットワークに問題が発生した場合、トラブルシューティングの章を参照する前に、確認する事項があります。

以下の事項を必ず確認してください。

- 電源コードが正しく接続され、本製品がオンの状態である。
- アクセスポイント（無線の場合）、ルーター、またはハブがオンの状態で、リンクボタンが点滅している。
- テープや保護材などの保護包装は、本製品からすべて取り除かれている。
- トナーカートリッジとドラムカートリッジが正しく取り付けられている。
- 上部と後部のカバーが完全に閉まっている。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- （有線ネットワークの場合）ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに接続されている。

上記事項をすべて確認しても問題が解決しない場合は、弊社公式サイトを参照してください。

他のマニュアルをダウンロードするには、弊社公式サイトにアクセスし、お使いのモデルのページで**製品マニュアル**ボタンをクリックします。



関連情報

- ・ [トラブルシューティング](#)

問題の特定と解決について

- エラーメッセージ
- 本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？
- 無線 LAN 設定を完了できません。
- プリンタードライバのインストールで、本製品がネットワーク上に見つかりません。
- 本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません。
- インストールが正常に完了しても、本製品がネットワーク上に表示されません。
- セキュリティ機能が正常に機能しません。
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

エラーメッセージ

関連モデル: MultiWriter 5150

本製品にエラーメッセージが表示されます。最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

エラーメッセージ	原因	対応
セツク デキマセン ホノ デバイス ト セツク チュウ デス	本製品がグループオーナーのときに、2 個の携帯端末がすでに Wi-Fi Direct に接続されています。	本製品と他の携帯端末との現在の接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定します。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。
セツク エラー	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct への接続を試みています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度します。
ツウシ エラー	Wi-Fi Direct の設定中に本製品とお使いの携帯端末の通信が失敗しました。	- 携帯端末を本製品に近づけます。 - 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 - WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN は必ず正確に入力してください。
デバイスが ミツリ マセン	本製品がお使いの携帯端末を見つけることができません。	- 本製品とお使いの携帯端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。 - 携帯端末を本製品に近づけます。 - 本製品と携帯端末を、障害物のない場所に移動します。 - Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。 - IP アドレスを取得する方法について、お使いの携帯端末に設定ページがある場合、携帯端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。



関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

■ [ホーム](#) > [ネットワーク](#) > [トラブルシューティング](#) > [問題の特定と解決について](#) > 本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？

本製品のネットワーク設定はどこを確認すればいいですか？

以下のどれかの方法を使用して、IP アドレス、デフォルトゲートウェイなど、本製品のネットワーク設定を確認してください。

- ネットワーク設定レポートを印刷する
- 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する
- BRAdmin Light を使ってネットワーク設定を示す（Windows[®]および Macintosh[®]）

✓ 関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)
-

無線 LAN 設定を完了できません。

関連モデル: MultiWriter 5150

お使いの無線ルーターの電源を一度オフにしてから、オンに戻します。無線設定をもう一度します。問題が解決しない場合は、以下の指示に従ってください。

WLAN レポート（無線 LAN レポート）に原因が表示されますので、確認し問題を調査します。

原因	対応	インターフェース
セキュリティ設定（SSID/ネットワークキー）に誤りがあります。	- 正しいセキュリティ設定値を選択していることを確認します。 - セキュリティ設定の表示方法については、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書を参照してください。 - 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの製造者名またはモデル番号が、デフォルトのセキュリティ設定値として使用されている場合があります。 - アクセスポイント/ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に問い合わせてください。 - SSID およびネットワークキーの定義については、用語集の SSID、ネットワークキー、およびチャネルの項目を参照してください。	無線
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスが、フィルタで許可されていることを確認します。本製品の操作パネルで、MAC アドレスを確認できます。	無線
無線 LAN アクセスポイント/ルーターがステルスモードです（SSID の同報送信ではありません）。	- 正しい SSID 名またはネットワークキーを手動で入力します。 - 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID 名またはネットワークキーを確認し、無線 LAN を再設定します。	無線
セキュリティ設定（SSID/パスワード）に誤りがあります。	- SSID およびパスワードを確認します。 - ネットワークを手動で設定する場合、SSID とパスワードは本製品に表示されます。お使いの携帯端末が手動設定をサポートしている場合、SSID とパスワードは携帯端末の画面に表示されます。 - SSID の定義については、用語集をご覧ください。	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	携帯端末の接続が切断された場合（Wi-Fi Direct を使用してから約 6 分後）、WPS（推奨）を使ったワンタッチ設定を試み、本製品をグループオーナーとして設定してください。	Wi-Fi Direct
本製品がお使いの携帯端末から離れ過ぎています。	本製品を携帯端末の約 1 メートル以内に近づけて、Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	Wi-Fi Direct
本製品と携帯端末との間に何らかの障害物（壁や家具など）があります。	携帯端末を、障害物のない場所に移動します。	Wi-Fi Direct
本製品または携帯端末の近くに、無線パソコン、Bluetooth 対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	他の機器を、本製品または携帯端末から離れた場所に移動します。	Wi-Fi Direct
上記の対策すべてを試しても Wi-Fi Direct の設定が完了できない場合は、右記の対応を行ってください。	- 本製品の電源を一度オフにしてから、オンに戻します。Wi-Fi Direct 設定をもう一度します。 - 本製品をクライアントとして使用している場合、現在の Wi-Fi Direct ネットワークで許可されている機器の数と、接続されている機器の数を確認します。	Wi-Fi Direct



関連情報

- ・ 問題の特定と解決について

プリンタードライバのインストールで、本製品がネットワーク上に見つかりません。

原因	対応	インターフェース
お使いのパソコンがネットワークに正しく接続されていません。	お使いのパソコンが、LAN 環境またはインターネットサービスなどのネットワークに接続されていることを確認します。ネットワークの問題についてサポートが必要な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。	有線 / 無線
	LAN ケーブルをハブに再接続して、配線とネットワーク接続が良好であることを確認します。可能であれば、別のケーブルを使用して、使用しているハブの異なるポートへ本製品を接続してみます。	有線
本製品がネットワークに正しく接続されていないか、本製品の IP アドレスが無効です。	ネットワーク設定リストを印刷して、 Ethernet Link Status または Wireless Link Status が Link OK であることを確認します。 Link OK が表示されない場合は、以下の操作を行ってください。 - 有線または無線設定が有効になっていることを確認します。リストの上部にあるこの設定を確認します。 - IP アドレスが有効か、ネットワーク管理者に問い合わせます。 - 使用している WLAN アクセスポイント/ルーターが利用可能であることを確認します。	有線 / 無線
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	- インストーラのダイアログボックスで、本製品を検索するオプションを再度選択します。 - プリンタードライバのインストール時にセキュリティソフトウェアの警告メッセージが表示された場合のアクセスを許可します。 (Macintosh®) スパイウェア対策またはウィルス対策セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、一時的にその機能を無効にして、ソフトウェアをインストールします。	有線 / 無線
本製品と、無線 LAN アクセスポイント/ルーターとの距離が離れすぎています。	本製品を携帯端末の約 1 メートル以内に近づけて、Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。	無線
本製品と無線 LAN アクセスポイント/ルーターとの間に何らかの障害物があります（壁や家具など）。	本製品を、障害物のない場所に移動します。	無線
本製品または無線 LAN アクセスポイント/ルーターの近くに、無線パソコン、Bluetooth 対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	他の機器を、本製品または携帯端末から離れた場所に移動します。	無線

✓ 関連情報

- ・ 問題の特定と解決について

本製品で、ネットワーク経由の印刷ができません。

原因	対応	インターフェース
お使いのセキュリティソフトウェアにより、本製品のネットワークへのアクセスがブロックされています。	インストールが正常に完了したセキュリティソフトウェアでも、警告ダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックしている場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、本ソフトウェアの製造業者に問い合わせてください。	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられませんでした。	IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのコンピューターと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがどちらも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクの確認方法の詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。	有線/無線
失敗した印刷ジョブが、コンピューターの印刷キューに残っています。	- 失敗した印刷ジョブがコンピューターの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 - もしくは、以下のフォルダにあるプリンターアイコンをダブルクリックして、すべてのドキュメントをキャンセルします。 (Windows Server® 2003) スタート > プリンタと FAX をクリックします。 (Windows Vista®)  (スタート) > コントロール パネル > ハードウェアとサウンド > プリンタをクリックします。 (Windows® 7)  (スタート) > デバイスとプリンター > プリンターと FAX をクリックします。本製品を右クリックして、印刷ジョブの表示を選択します。 (Windows® 8) マウスポインタを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアとサウンドグループで、デバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 (Windows Server® 2008) スタート > コントロール パネル > プリンタをクリックします。 (Windows Server® 2012) マウスポインタを、デスクトップの右下隅に移動します。メニューバーが表示されたら、設定 > コントロール パネルをクリックします。ハードウェアグループで、デバイスとプリンターの表示 > プリンターをクリックします。 (Windows Server® 2012 R2 用) コントロール パネル画面でスタートをクリックします。ハードウェアグループで、デバイスとプリンターの表示をクリックします。本製品を右クリックして、印刷ジョブの表示を選択します。 - OS X® v10.7.5、10.8.x システム環境設定 > プリントとスキャンをクリックします。 - OS X® v10.9.x システム環境設定 > プリンタとスキャナをクリックします。	有線/無線

原因	対応	インターフェース
本製品が無線 LAN に接続されていません。	WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて行っても、本製品で印刷できない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてから、再インストールします。



関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

インストールが正常に完了しても、本製品がネットワーク上に表示されません。

原因	対応	インターフェース
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	インストールが正常に完了した場合でも、セキュリティソフトが警告を出さずにアクセスをブロックしている場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、製造元に問い合わせてください。	有線/無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのパソコンと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがどちらも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクの確認方法の詳細については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。	有線/無線
本製品は、無線機能を使用しているネットワークに接続されていません。	WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて行っても、ネットワーク上に本製品が見つからない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてから、再インストールします。

✓ 関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

セキュリティ機能が正常に機能しません。

原因	対応	インターフェース
プリンタードライバー、BRAdmin Light のインストール中、または印刷機能の使用時に、セキュリティの警告ダイアログボックスを受け入れませんでした。	セキュリティの警告ダイアログボックスを受け入れなかった場合、使用しているセキュリティソフトウェアのファイアウォールはアクセスを拒否することがあります。 セキュリティソフトウェアが警告ダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックしている場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、製造業者に問い合わせてください。	有線/無線
セキュリティソフトウェアの設定のために必要なポート番号が閉じられている可能性があります。	以下のポート番号が NEC のネットワーク機能に使用されています。 ・ ネットワークプリンティング ¹ : ポート番号 161 および 137/プロトコル UDP ・ BRAdmin Light : ポート番号 161/プロトコル UDP ポートを開く方法の詳細については、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、製造業者に問い合わせてください。	有線/無線

¹ Windows®



関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対応	インターフェース
本製品、アクセスポイント/ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	以下を確認します。 - 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 - アクセスポイント/ルーター、またはハブの電源が入った状態で、リンクボタンが点滅している。 - 保護包装は本製品からすべて取り除かれている。 - トナーカートリッジとドラムカートリッジが正しくインストールされている。 - 前部と後部のカバーが完全に閉まっている。 - 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。 （有線 LAN の場合）ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。	有線/無線
ネットワーク設定レポートの Link Status で確認します。	ネットワーク設定リストを印刷して、 Ethernet Link Status または Wireless Link Status が Link OK であることを確認します。	有線/無線
Ping コマンドをつかってパソコンと本製品の接続を確認します。	Windows® のコマンドプロンプトまたは Macintosh® Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、パソコンから本製品に Ping を実行します。 ping <ipaddress> または <nodename> - 成功：本製品は正常に動作し、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されています。 - 失敗：本製品は、お使いのパソコンと同一のネットワークに接続されていません。	有線/無線
お使いの製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	WLAN レポート（無線 LAN レポート）を印刷して、エラーコードを確認します。	無線

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント/ルーターの説明書で SSID とネットワークキーの情報を参照し、それらを正しく設定してください。

✓ 関連情報

- ・ [問題の特定と解決について](#)

操作パネルのネットワークメニューについて

操作パネルの[ネットワーク]メニューから、本製品のネットワーク設定を変更することができます。

本製品には、BRAdmin Light およびウェブブラウザ設定のアプリケーションが収められており、これらを使用してネットワークのさまざまな設定を行うことができます。

✓ 関連情報

- ・ ネットワーク
- ・ TCP/IP
- ・ イーサネット（有線 LAN のみ）
- ・ 有線 LAN の状態
- ・ MAC アドレス
- ・ WLAN アシスタント（無線 LAN のみ）
- ・ セットアップウィザード（無線 LAN のみ）
- ・ WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）
- ・ WPS w/PIN コード（無線 LAN のみ）
- ・ WLAN ステータス（無線 LAN のみ）
- ・ デフォルトの設定
- ・ 有線対応（有線 LAN のみ）
- ・ WLAN 対応（無線 LAN のみ）
- ・ Wi-Fi Direct
- ・ ネットワークリセット
- ・ 操作パネルを使用してネットワークの設定を表示する

TCP/IP

ネットワークケーブルを使用して本製品をお使いのネットワークに接続する場合、[**1** LAN] メニューから選択します。本製品を無線イーサネットネットワークに接続する場合、[**4** LAN] メニューから選択します。

IP 取得方法

IP アドレスの取得方法を設定します。

Auto

Auto を選択した場合、製品は DHCP サーバーのためのネットワークを検索します。ネットワークが見つかり、DHCP サーバーが IP アドレスを本製品に割り当てるように設定されている場合、その IP アドレスが使用されます。

利用可能な DHCP サーバーが存在しない場合、IP アドレスは APIPA プロトコルを使用して設定されます。本製品の電源の初回オン時、サーバーの検索に数分かかることがあります。

Static

Static を選択した場合、本製品の IP アドレスを手動で割り当てる必要があります。入力された IP アドレスは、割り当て済みアドレスに固定されます。

プリントサーバーの設定を DHCP、BOOTP、または RARP を介して行わない場合、IP 取得方法を Static にして、手動で IP アドレスを設定する必要があります。これにより、自動的に IP アドレスを取得しない設定となります。

IP 取得方法を変更するには、操作パネル、BRAdmin Light、またはウェブブラウザ設定を使用します。

IP アドレス

この欄には、本製品の現在の IP アドレスが表示されます。手動で IP アドレスを取得した場合、本製品に割り当てる IP アドレスを入力します（使用する IP アドレスについては、ネットワーク管理者に問い合わせてください）。Static 以外の方法を選択した場合、本製品は DHCP、BOOTP、または RARP プロトコルを使用して、IP アドレスを取得します。

本製品のデフォルト IP アドレスは、お使いのネットワークの IP アドレスナンバリング方法とは互換性がない可能性があります。ネットワーク管理者に問い合わせ、本製品の接続先ネットワークと互換性のある IP アドレスを確認することを推奨します。

サブネットマスク

この欄には、本製品が使用している現在のサブネットマスクが表示されます。サブネットマスクの取得に DHCP、BOOTP、または RARP を使用していない場合、任意のサブネットマスクを入力します。ネットワーク管理者に問い合わせ、使用するサブネットマスクを確認してください。

ゲートウェイ

この欄には、本製品が使用している現在のゲートウェイまたはルーターのアドレスが表示されます。ゲートウェイまたはルーターのアドレスの取得に DHCP、BOOTP、または RARP を使用していない場合、割り当てるアドレスを入力します。ゲートウェイまたはルーターがない場合、この欄は空欄のままにします。不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

IP 起動の試行回数

この欄には、IP 取得方法が Static 以外に設定された場合に、本製品が IP アドレスを取得する試行回数が表示されます。

APIPA

IP アドレス配布サーバー（RARP、BOOTP、DHCP など）を利用していない場合でも、APIPA（AutoIP）を[オン]に設定しておく、本製品に IP アドレスを自動的に割り当てます。このとき、IP アドレスは 169.254.1.0～169.254.254.255 の範囲で割り当てられます。この機能を使用しないときは[オフ]に設定してください。

IPv6

本製品は、インターネットプロトコル・バージョン 6（IPv6）に対応しています。お買い上げ時の設定は[オフ]です。IPv6 を使用する場合は、[オン]を選択します。



- [IPv6] を [オ] に設定した場合は、設定を有効にするために、一度、本製品の電源を入れ直してください。
- [IPv6] を [オ] に設定した場合は、有線 LAN 接続、無線 LAN 接続のどちらでも有効です。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

イーサネット（有線 LAN のみ）

イーサネットリンクモードは、100BASE-TX（全二重/ 半二重）、10BASE-T（全二重/ 半二重）を自動的に選択します。



この値が正確に設定されていない場合、本製品はプリントサーバーと通信できないことがあります。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

有線 LAN の状態

有線 LAN をご使用の場合、現在の接続状態、通信速度を確認できます。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
-

MAC アドレス

MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、本製品のネットワークインターフェースに割り当てられた番号です。本製品の MAC アドレスは、操作パネルで確認することができます。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
-

WLAN アシスタント (無線 LAN のみ)

関連モデル: MultiWriter 5150

パソコンを使用して、無線 LAN 設定をします。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

セットアップウィザード（無線 LAN のみ）

関連モデル: MultiWriter 5150

本製品の操作パネルからウィザード形式で無線 LAN を設定することができます。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WPS/AOSS™（無線 LAN のみ）

関連モデル: MultiWriter 5150

使用している無線 LAN アクセスポイント/ルーターが、WPS（PBC）または AOSS™（自動無線モード）のどちらかをサポートしている場合、アクセスポイントのボタンを押すだけで、本製品の無線 LAN 設定が行えます。



- WPS は、Wi-Fi Protected Setup™です。
- PBC は、プッシュボタン方式（Push Button Configuration）を指します。
- AOSS™は、エアーステーションワンタッチセキュアシステム（AirStation One-Touch Secure System）です。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WPS w/PIN コード（無線 LAN のみ）

関連モデル: MultiWriter 5150

使用している無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS（PIN 方式）をサポートしている場合、PIN（Personal Identification Number）コードを入力することで無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。



WPS は、Wi-Fi Protected Setup™です。



関連情報

- ・ 操作パネルのネットワークメニューについて

WLAN ステータス（無線 LAN のみ）

関連モデル: MultiWriter 5150

接続状態

無線 LAN の接続状態を表示します。

電波状態

無線 LAN の電波状態を表示します。

通信チャンネル

この欄には、現在の無線 LAN のチャンネルが表示されます。

通信速度

この欄には、現在の無線 LAN の速度が表示されます。

SSID

無線 LAN の SSID（ネットワーク名）を表示します。最大 32 文字の SSID 名が表示されます。

通信モード

無線 LAN の通信モードを表示します。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

デフォルトの設定

関連モデル: MultiWriter 5150

[ジョセッティ ニ モドス] オプションを選択して、有線または無線の設定を、お買い上げ時の設定にリセットします。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

有線対応（有線 LAN のみ）

関連モデル: MultiWriter 5150

有線 LAN 接続を使用する場合には、[有線LAN 有効] を [オン] に設定します。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

WLAN 対応（無線 LAN のみ）

関連モデル: MultiWriter 5150

無線 LAN 接続を使用する場合に、[無線LAN 有効] を [有効] に設定します。

✓ 関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)

Wi-Fi Direct

関連モデル: MultiWriter 5150

Wi-Fi® 標準の接続方式で、無線 LAN アクセスポイントを使用しないで機器同士を互いに接続することができます。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
- ・ [無線 LAN 接続について](#)

ネットワークリセット

[LANセッティ リセット]を選択して、プリントサーバーをお買い上げ時の設定に戻します。



関連情報

- ・ [操作パネルのネットワークメニューについて](#)
-

セキュリティ

- 本製品の設定値のロックについて
- ネットワークセキュリティ機能を使用する前に
- サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について
- 安全な E-mail の送信について

本製品の設定値のロックについて

本製品のアクセスロック機能をオンにする前に、お使いのパスワードを慎重に入力してください。パスワードを忘れた場合、管理者または弊社のサービス窓口にお問い合わせ、本製品に保存済みのすべてのパスワードをリセットする必要があります。

- [ロックの設定の使用について](#)

ロックの設定の使用について

製品の設定値への非認証のアクセスをブロックします。

ロックの設定を[オ]にすると、製品の設定値にアクセスする場合はパスワードの入力が必要となります。



関連情報

- ・ [本製品の設定値のロックについて](#)
- ・ [設定ロックパスワードを設定する](#)
- ・ [設定ロックパスワードを変更する](#)
- ・ [設定ロックのオンまたはオフについて](#)

設定ロックパスワードを設定する

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[林ン セッテイ] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ セッテイロック] を選択し、**OK** を押します。
3. パスワード用の 4 桁の数字を入力します。
各数字を入力するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して数字を選択し、**OK** を押します。
4. 液晶ディスプレイに「パスワード カン:」と表示されたら、パスワードを再入力します。
5. **OK** を押します。



関連情報

- ・ [ロックの設定の使用について](#)

設定ロックパスワードを変更する

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[林ン セッテイ] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ セッテイロック] を選択し、**OK** を押します。
3. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[パスワード セッテイ] を選択し、**OK** を押します。
4. 現在の4桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して数字を選択し、**OK** を押します。
5. 新しい4桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して数字を選択し、**OK** を押します。
6. 液晶ディスプレイに「パスワード カン:」と表示されたら、パスワードを再入力します。
7. **OK** を押します。



関連情報

- ・ [ロックの設定の使用について](#)

■ 設定ロックのオンまたはオフについて

- 設定ロックをオンにする
- 設定ロックをオフにする

設定ロックをオンにする

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[林ン セッテイ] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ セッテイロック] を選択し、**OK** を押します。
3. 液晶ディスプレイに [オン] と表示されたら、**OK** を押します。
4. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して数字を選択し、**OK** を押します。



関連情報

- ・ 設定ロックのオンまたはオフについて

設定ロックをオフにする

1. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[林ン セッテイ] を選択し、**OK** を押します。
2. 操作パネルの ▲ または ▼ を押して、[セキュリティ セッテイロック] を選択し、**OK** を押します。
3. 現在の4桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、操作パネルの ▲ または ▼ を押して数字を選択し、**OK** を押します。
4. 液晶ディスプレイに[わ]と表示されたら、**OK** を押します。



関連情報

- ・ 設定ロックのオンまたはオフについて

ネットワークセキュリティ機能を使用する前に

お使いの本製品には、最新のネットワークセキュリティおよび、現在利用可能な暗号化プロトコルが使用されています。これらネットワーク機能は使用されているネットワークセキュリティ全体に統合することが可能で、データを保護し、本製品への認証されていないアクセスを防ぐことができます。



Telnet、FTP および TFTP プロトコルを無効にすることを推奨します。これらのプロトコルを使用して製品へアクセスすることは安全ではありません。



関連情報

・ [セキュリティ](#)

サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について

- セキュリティプロトコル
- E-mail を送信するためのセキュリティ方式について
- ウェブブラウザ設定（ウェブブラウザ）を使用してネットワーク製品を安全に管理する

セキュリティプロトコル

SNMPv3

簡易ネットワーク管理プロトコル バージョン 3（SNMPv3：Simple Network Management Protocol version 3）は、ユーザー認証とデータの暗号化のために使用され、ネットワーク機器が安全に管理されます。



関連情報

- ・ [サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について](#)

E-mail を送信するためのセキュリティ方式について



これらのセキュリティ方式は、ウェブブラウザ設定を使用して設定します。

SMTP 認証 (SMTP-AUTH)

SMTP-AUTH は SMTP (インターネット E-mail 送信プロトコル) を拡張したもので、送信者の身元が分かっていることを証明する認証方式を含みます。



関連情報

- ・ [サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について](#)

ウェブブラウザ設定 (ウェブブラウザ) を使用してネットワーク製品を安全に管理する

お使いのネットワーク製品を安全に管理するには、セキュリティプロトコルを使用している管理ユーティリティを使用する必要があります。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。
3. 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、 をクリックします。



- SNMPv3 プロトコルを使用する場合は、以下の手順に従います。

4. ネットワークタブをクリックします。
5. プロトコルをクリックします。
6. **SNMP** が有効であることを確認し、**SNMP の詳細設定** をクリックします。
7. 以下の画面から、SNMP を設定します。

SNMP

状態有効

SNMP動作モード

☒ SNMP v1/v2c read-write access

☐ SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access

☐ SNMPv3 read-write access

キャンセル OK

SNMP 動作モードには、3つの選択肢があります。

- **SNMP v1/v2c read-write access**
このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、すべてのアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行なわれず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
- **SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access**
このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの、Ver. 3 (読み書きアクセス)、および Ver. 1 と Ver. 2c (リードオンリーアクセス) を使用します。



SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access モードを使用する場合、Ver. 1 と Ver. 2c のリードオンリーが認証されるため、プリントサーバーにアクセスするアプリケーション（BRAdmin Light など）の一部が正常に機能しない場合があります。すべてのアプリケーションを使用する場合は、**SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用します。

- **SNMPv3 read-write access**

このモードでは、プリントサーバーは SNMP プロトコルの Ver. 3 を使用します。プリントサーバーを安全に管理するには、このモードを使用します。



SNMPv3 read-write access モードを使用する場合、以下の点に注意します。

- プrintサーバーは、ウェブブラウザ設定を使用して管理することができます。
- SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションの使用が制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、**SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access** または **SNMP v1/v2c read-write access** モードを使用します。



関連情報

- ・ [サポート対象のセキュリティプロトコルと機能について](#)

安全な E-mail の送信について

- ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送信を設定する
- ユーザー認証を使用した E-mail 送信について

ウェブブラウザ設定を使用して E-mail の送信を設定する

ユーザー認証済みの安全な E-mail 送信を、ウェブブラウザ設定を使用して設定することをお勧めします。

1. お使いのウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http://製品の IP アドレス」を入力します(「製品の IP アドレス」には本製品の IP アドレスを入力します)。

例 : http://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

- 例 :

http://SharedPrinter

NetBIOS 名を有効にしている場合、ノード名も使用できます。

- 例 :

http://brnxxxxxxxxxxxxx

NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

- Macintosh®の場合、ステータスマニター画面に表示される本製品アイコンをクリックして、ウェブブラウザ経由でアクセスします。

3. 初期設定ではパスワードは必要ありません。パスワードを設定している場合は入力し、をクリックします。
4. ネットワークタブをクリックします。
5. 左ナビゲーションバーの **プロトコル** をクリックします。
6. **SMTP** 欄で、**詳細設定**をクリックし、**SMTP** の状態が**有効**であることを確認します。
7. **SMTP** の設定値を設定します。
 - 詳細については、ウェブベース管理のヘルプを参照してください。
 - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
 - SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー (ISP) にお問い合わせください。
8. 設定の完了後、**OK** をクリックします。
E メール送信設定テストのダイアログボックスが表示されます。
9. ダイアログボックスに表示される指示に従って、設定のテストを行ってください。



関連情報

- ・ [安全な E-mail の送信について](#)

ユーザー認証を使用した E-mail 送信について

本製品は、ユーザー認証が必要な E-mail サーバーを経由して E-mail を送信するための、SMTP-AUTH 方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスが防止されます。

SMTP-AUTH 方式を使用して、E-mail 通知および E-mail レポートを送信することができます。



ウェブベース管理を使用して SMTP 認証を設定することを推奨します。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)にお問い合わせください。



SMTP サーバー認証を有効にするには、ウェブベース管理の **SMTP** 画面の**送信メールサーバー認証方式**で、**SMTP-AUTH** を選択する必要があります。



関連情報

- ・ [安全な E-mail の送信について](#)

用語集

本製品のマニュアルに掲載されている機能と用語の一覧です。ご利用いただける機能は、お買い上げのモデルによって異なります。

A B C D H I L M N P R S T V W あ か さ た な は

A

- [AES](#)
- [AOSS™](#)
- [APIPA](#)
- [ARP](#)

B

- [BOOTP](#)
- [BRAdmin Light](#)

C

- [Custom Raw Port](#)

D

- [DHCP](#)
- [DNS クライアント](#)
- [DNS サーバー](#)

H

- [HTTP](#)

I

- [IPP](#)
- [IPv6](#)
- [IP アドレス](#)

L

- [LLMNR](#)
- [LPD](#)

M

- [MAC アドレス](#)
- [mDNS](#)

N

- [NetBIOS name resolution](#)

P

- [PIN](#)

R

- [RARP](#)

S

- [SMTP-AUTH](#)
- [SMTP クライアント](#)
- [SNMP](#)
- [SNMPv3](#)
- [SNTP](#)
- [SSID](#)

T

- [TCP/IP](#)
- [TKIP](#)

V

- [Vertical Pairing](#)

W

- Web サービス
- WEP
- Wi-Fi Direct™
- WINS
- WINS サーバー
- WLAN レポート（無線 LAN レポート）
- WPA-PSK/WPA2-PSK
- WPS

あ

- アドホック（Ad-hoc）通信
- 暗号化
- インフラストラクチャ（Infrastructure）通信
- ウェブブラウザ設定
- オープンシステム

か

- 共有鍵暗号システム
- ゲートウェイ（ルーター）
- 公開鍵暗号システム

さ

- サブネットマスク
- ステータスマニター

た

- チャンネル

- [デジタル署名](#)

な

- [認証](#)
- [ネットワーク共有印刷](#)
- [ネットワークキー](#)
- [ネットワーク設定レポート](#)
- [ノード名](#)

は

- [ピアツーピア](#)
- [プロトコル](#)

AES

米国商務省標準技術局（NIST）によって制定された、TKIP より安全性の高い暗号化方式です。

AOSS™

AirStation One-Touch Secure System（AOSS™）は、バッファロー社の無線 LAN アクセスポイント、エアーステーションシリーズに搭載されている機能で、接続設定とセキュリティ設定が簡単に行えます。

APIPA

Automatic Private IP Addressing（APIPA）は、IP アドレスの自動的な割り当て管理機能で、未使用の IP アドレスを見つけ、IP アドレスが重複しないように「169.254.1.0 ～ 169.254.254.255」の範囲から自動で IP アドレスを割り当てます。

ARP

Address Resolution Protocol（ARP）は、IP アドレスから MAC アドレス（イーサネットアドレス）を求めるためのプロトコルです。

BOOTP

ハードディスクを搭載しないディスクレスクライアントシステムが、ネットワークアクセスを行うための IP アドレスやサーバーアドレス、起動用プログラムのロード先などを見つけだし、システムを起動できるようにすることを目的として開発された UDP/IP 上のプロトコルです。



BOOTP を使用するには、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

BRAdmin Light

BRAdmin Light は、ネットワークに接続された機器の初期設定を行うためのユーティリティです。ネットワーク上の製品の検索、ステータス表示、IP アドレスなどのネットワークの基本設定が行えます。

BRAdmin Light を使用するには、付属の CD-ROM から BRAdmin Light をダウンロードします。

Custom Raw Port

Custom Raw Port は、TCP/IP ネットワークで一般的に使用されている印刷プロトコルです。初期値は、Port 9100 です。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol（DHCP）は、IP アドレスやサーバーアドレスなどの設定ファイルを起動時に読み込めるように開発された BOOTP をベースとする上位互換規格のプロトコルです。



DHCP を使用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

DNS クライアント

本製品は、Domain Name System（DNS）クライアント機能をサポートしています。この機能により、本製品は DNS 名を使用して他の機器と通信することができます。

DNS サーバー

Domain Name System（DNS）は、ネットワーク上のホスト名から IP アドレスを調べるためのサービスです。お使いのパソコンから IP アドレスを自動的に見つけることができます。

HTTP

ハイパーテキスト転送プロトコル（HTTP : Hypertext Transfer Protocol）は、パソコンにインストールされている標準ウェブブラウザを使用して、ネットワーク上のデバイス情報を取得することができます。本製品はウェブサーバーが内蔵されているため、ウェブブラウザを使用して本製品の管理や設定の変更を行うことができます。

IPP

インターネット印刷プロトコル（IPP）を使用すると、インターネット経由でアクセス可能な製品に、文書を直接送信して印刷することができます。

IPv6

IPv6 は、次世代インターネットプロトコルです。

IP アドレス

インターネットプロトコル（IP）アドレスは、ネットワークに接続されている各機器を特定する一連の番号で、各機器の住所にあたるものです。IP アドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの番号で構成されます。各番号は 0 ～ 255 までの数字を使用します。

例：ローカルネットワークでは、通常は最後の数字（ホストアドレス部）を変更します。

192.0.2.1

192.0.2.2

192.0.2.3

プリントサーバーに IP アドレスを割り当てる仕組み：

ネットワーク上で DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用している場合は、IP アドレス配布サーバーから自動的に IP アドレスが割り当てられます。



ローカルネットワークの場合、ルーターに DHCP サーバーが設置されていることがあります。

ネットワーク上で DHCP、BOOTP、RARP などの IP アドレス配布サーバーを利用していない場合は、APIPA 機能により、169.254.1.0 ～ 169.254.254.255 の範囲の IP アドレスが自動的に割り当てられます。

LLMNR

リンクローカルマルチキャスト名前解決（LLMNR : Link-Local Multicast Name Resolution）プロトコルは、ネットワークにドメインネームシステム（DNS）が存在しない場合に、近隣のパソコンの名前を解決します LLMNR

レスポnder機能は、Windows Vista®および Windows® 7 など、LLMNR センダー機能を有するパソコンを使用する場合に、IPv4 または IPv6 のどちらの環境でも動作します。

LPD

ラインプリンターデーモン（LPD または LPR）プロトコルは、TCP/IP ネットワークで一般的に使用されている印刷プロトコルです。

MAC アドレス

MAC アドレス（イーサネットアドレス）は、OSI 参照モデルのデータリンク層で定義されるインターフェイスカードのアドレスで、デバイス内部に記憶されているため、変更することはできません。本製品の MAC アドレスは、操作パネル上や、ネットワーク設定リストで確認することができます。

mDNS

Multicast DNS（mDNS）は、DNS サーバーが存在しないような小規模なローカルエリアネットワーク環境においても、クライアントパソコンがネットワーク上に存在する機器を名前を検索して利用できるようにする機能です。

NetBIOS name resolution

NetBIOS（Network Basic Input/Output System）は、ネットワークの基本的な入出力システムの名前解決で、ネットワーク接続間の通信に NetBIOS 名を使用して、他の機器の IP アドレスを取得することができます。

PIN

PIN（Personal Identification Number）方式は、Wi-Fi Alliance®により開発された接続方式の一つです。加入者（本製品）により作成された PIN を、登録機関（無線 LAN を管理する機器）に送信することにより、無線 LAN とセキュリティの設定を行うことができます。

RARP

Reverse Address Resolution Protocol（RARP）は、TCP/IP ネットワークにおいて、MAC アドレス（イーサネットアドレス）から IP アドレスを求めるのに使われるプロトコルです。



RARP を使用する場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

SMTP-AUTH

SMTP 認証（SMTP-AUTH）は SMTP（インターネット E メール送信プロトコル）を拡張し、送信者の身元を確認する認証方法を取り入れたもので、クライアントから E メールを送信する際のユーザー認証方法です。

SMTP クライアント

簡易メール転送プロトコル（SMTP：Simple Mail Transfer Protocol）クライアントは、インターネットまたはイントラネットを経由して E メールを送信するために用いられます。

SNMP

簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP：Simple Network Management Protocol）は、パソコン、ルーター、ネットワーク対応製品などのネットワーク機器を管理するために使用されます。本プリントサーバーは、SNMPv1、SNMPv2c、および SNMPv3 をサポートしています。

SNMPv3

簡易ネットワーク管理プロトコルバージョン3（SNMPv3：Simple Network Management Protocol version 3）は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。

SNTP

簡易ネットワークタイムプロトコル（SNTP）は、TCP/IP ネットワーク内のパソコン、プリンター、端末を含めたネットワーク機器の時刻の設定に用いられます。ウェブブラウザ設定を使用して SNTP の設定を行うこともできます。

SSID

それぞれの無線 LAN では、独自のネットワーク名を持っており、そのネットワーク名は SSID または ESSID と呼ばれます。SSID は最大 32 文字までの英数字を使用し、アクセスポイントに割り当てられます。SSID は無線 LAN アクセスポイントのネットワーク機器に割り当てられているので、接続するネットワークの無線 LAN アクセスポイントのネットワーク機器と同じ SSID を設定してください。通常は、SSID 情報を含むパケット（ビーコンとも呼ばれます）が無線 LAN アクセスポイントから発信されます。お使いの無線 LAN アクセスポイントのネットワーク機器のパケット（ビーコン）を受信すると、近くにある電波強度が強い無線 LAN を識別することができます。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol（TCP/IP）は、インターネットや E メールなどの通信に最も一般的に使用されているプロトコルです。このプロトコルは、Windows[®]、Windows Server[®]、OS X[®]および Linux[®]など、ほぼすべてのオペレーティングシステムで使用することができます。

TKIP

Temporal Key Integrity Protocol（TKIP）は、WEP の後継にあたる暗号化の規格で、暗号化方式は WEP と同じ RC4 を利用しています。TKIP は一定時間ごと、または一定パケット量ごとにネットワークキーが更新されるため WEP キーによる暗号化よりも高いセキュリティになります。

Vertical Pairing

Vertical Pairing は、Vertical Pairing をサポートしている無線機器を WPS の PIN 方式と Web サービスの特徴を使って、インフラストラクチャネットワークに接続するための機能です。本製品の無線 LAN 設定からプリンタードライバーとスキャナードライバーのインストールまで一連の手順で行うことができます。

Web サービス

Windows Vista[®]、Windows[®] 7、Windows[®] 8 の場合は、Web サービス プロトコルを使用して、ネットワークフォルダーにある本製品のアイコンを右クリックし、印刷に使用されるプリンタードライバーをインストールすることができます。また、ご使用のパソコンから本製品の現在のステータスを確認することもできます。

WEP

Wired Equivalent Privacy (WEP) は、IEEE802.11 で標準化されている暗号化方式です。無線 LAN アクセスポイントやクライアントで共通のネットワークキー (WEP キー) を設定して通信の暗号化をします。

Wi-Fi Direct™

Wi-Fi Direct™ は、Wi-Fi Alliance® が開発した無線設定方法のひとつです。

WINS

Windows® Internet Name Service (WINS) とは、NetBIOS name resolution の情報提供サービスです。ローカルネットワーク上の IP アドレスと NetBIOS 名を集約します。

WINS サーバー

Windows® Internet Name Service (WINS) サーバーは、IP アドレスを Windows® ネットワーク内のパソコン名 (NetBIOS 名) と関連付けます。

WLAN レポート (無線 LAN レポート)

WLAN レポート (無線 LAN レポート) には、本製品の無線の状態が印刷されます。無線接続に失敗した場合、印刷したレポートのエラーコードを確認してください。

WPA-PSK/WPA2-PSK

WPA-PSK/WPA2-PSK は、Wi-Fi Alliance® が提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。WPA-PSK の TKIP、または WPA-PSK、WPA2-PSK の AES の暗号キーを使用して、本製品をアクセスポイントに接続します。

WPS

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) は、Wi-Fi Alliance® が考案した、簡単に無線接続設定ができる規格です。無線 LAN アクセスポイントと無線接続をしたい機器が WPS に対応していれば、セットアップボタンを押すだけで設定が完了して接続できるようになります。

アドホック (Ad-hoc) 通信

無線 LAN アクセスポイントを経由しないで、直接それぞれの無線 LAN 端末間で通信するネットワークです。このタイプのネットワークは、アドホックモードまたはピア・ツー・ピア・ネットワークとも呼ばれています。

暗号化

ほとんどの無線 LAN で、何らかのセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定により、認証 (ネットワークに機器を知らせる方法) および暗号化 (ネットワークにデータを送信する際の暗号化方法) が定義されます。本製品の無線機器の設定時にこれらのオプションが正しく指定されないと、無線 LAN に接続できません。そのため、これらのオプションは慎重に設定してください。

個人的な無線 LAN 用の暗号化方式

個人的な無線 LAN とは、IEEE 802.1x をサポートしていない小規模ネットワークです (家庭内無線 LAN など)。

■ ホーム > 用語集

- なし
どの暗号化方式も使用されていません。
- WEP
Wired Equivalent Privacy (WEP) を使用している場合、データは安全なキーを付けて送受信されます。
- TKIP
Temporal Key Integrity プロトコル (TKIP) により、メッセージの完全性確認とキー取り換えメカニズムを合わせるキーが、パケット単位で得られます。
- AES
次世代標準化暗号方式 (AES: Advanced Encryption Standard) により、対称鍵暗号化を使用した強力なデータ保護が実装されます。



- IEEE 802.11n は、暗号化方式として WEP および TKIP のどちらもサポートしていません。
- IEEE 802.11n を使用している無線 LAN に接続する場合は、AES を選択することを推奨します。

インフラストラクチャ (Infrastructure) 通信

無線 LAN アクセスポイントを経由して、それぞれの無線 LAN 端末が通信するネットワークです。インフラストラクチャモードとも呼ばれています。

ウェブブラウザ設定

標準的なウェブブラウザで、HTTP を使用して本製品を管理できます。ウェブブラウザを使用してネットワーク上の製品から、一覧表示された機能を実行したり、以下の情報を取得することができます。

- 製品の状態についての情報
- TCP/IP 情報など、ネットワーク設定の変更
- 印刷ログ機能の設定
- 本製品およびプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報
- ネットワークおよび製品の設定情報の変更



ウェブブラウザ設定を使用するには、ネットワーク上で TCP/IP プロトコルを使用し、プリントサーバーとコンピューターに有効な IP アドレスがプログラムされている必要があります。

オープンシステム

オープンシステムは、ネットワーク認証方式の 1 つです。認証を行わず、すべてのネットワークアクセスを許可します。

共有鍵暗号システム

共有鍵暗号システムは、暗号化するための公開鍵と復号化するための秘密鍵に、同じキーを用いる暗号方法です。

ゲートウェイ (ルーター)

ゲートウェイは、他のネットワークへの入口として機能するネットワークポイントで、そのネットワークを介して転送されたデータを目的の場所に送信します。ルーターは、ネットワークとネットワークを中継する装置です。異なるネットワーク間の中継地点で送信されるデータを正しく目的の場所に届ける働きをしています。このルー

ターが持つ IP アドレスをゲートウェイのアドレスとして設定します。ルーター IP アドレスが不明の場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

公開鍵暗号システム

公開鍵暗号システムは、秘密鍵と公開鍵で一对の鍵を使用して、暗号化するための公開鍵と復号化するための秘密鍵に、それぞれ異なるキーを用いる暗号方法です。

サブネットマスク

サブネットマスクは、ネットワークを複数の物理ネットワークに分割するのに使用します。

以下の例では、IP アドレスの最後のセグメントがホストアドレス、最初の 3 つのセグメントがネットワークアドレスとなります。

例：パソコン 1 とパソコン 2 にデータを直接通信する。

- パソコン 1
IP アドレス：192.0.2.1
サブネットマスク：255.255.255.0
- パソコン 2
IP アドレス：192.0.2.2
サブネットマスク：255.255.255.0



0 は、アドレスのこの部分での通信に制限がないことを示します。

ステータスマニター

ステータスマニターは、本製品の印刷状況やインク/トナーの残量、用紙の有無などを確認したり、紙詰まりなどの問題が発生した場合にユーザーにお知らせするユーティリティです。

チャンネル

無線 LAN では通信のためにチャンネルが使われます。それぞれのチャンネルはすでに決められた異なる周波数帯域を持っており、14 種類のチャンネルを使用することができます。利用可能なチャンネルは、多くの国で制限が設けられています。

デジタル署名

データの受信者がデータの正当性を確認するための情報です。暗号アルゴリズムで計算される値で、データオブジェクトに付加されます。

認証

ほとんどの無線 LAN で、何らかのセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定により、認証（ネットワークに機器を知らせる方法）および暗号化（ネットワークにデータを送信する際の暗号化方法）が定義されます。本製品の無線機器の設定時にこれらのオプションが正しく指定されないと、無線 LAN に接続できません。そのため、これらのオプションは慎重に設定してください。

個人的な無線 LAN 用の認証方式

個人的な無線 LAN とは、IEEE 802.1x をサポートしていない小規模ネットワークです（家庭内無線 LAN など）。

■ ホーム > 用語集

- オープンシステム

無線機器は、認証なしでネットワークへアクセスできます。

- 共有キー

事前定義された秘密キーが、無線 LAN にアクセスするすべての機器に共有されます。本製品の無線機器は、WEP キーを事前定義されたキーとして使用します。

- WPA-PSK/WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access® Pre-shared key (WPA-PSK/WPA2-PSK) を有効にします。このキーにより、本製品の無線機器が、WPA-PSK 用 TKIP または、WPA-PSK および WPA2-PSK (WPA-Personal) 用 AES を使用するアクセスポイントと関連付けられます。

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有印刷は、ネットワーク共有環境で行う印刷のタイプです。ネットワーク共有環境では、各パソコンがサーバーまたはプリントサーバー経由でデータを送信します。

ネットワークキー

ネットワークキーはパスワードであり、データを暗号化または復号化する場合に使用されます。ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとしても記載されます。以下の表に、各設定に使用するキーの文字数を示します。

WEP を使用するオープンシステム/共有キー

このキーは 64 ビットまたは 128 ビットの値を持ち、ASCII または 16 進数の形式で入力する必要があります。

	ASCII	16 進数
64 (40) ビット	5 個の文字を使用します。 例: 「WSLAN」(大文字と小文字を区別する)	10 ケタの 16 進数データを使用します。 例: 「71f2234aba」(大文字と小文字を区別しない)
128 (104) ビット	13 個の文字を使用します。 例: 「Wirelesscomms」(大文字と小文字を区別する)	26 ケタの 16 進数データを使用します。 例: 「71f2234ab56cd709e5412aa2ba」(大文字と小文字を区別しない)

WPA-PSK/WPA2-PSK および TKIP または AES

最長 63 文字で、8 文字以上の事前共有キー (PSK: Pre-Shared Key) を使用します。

ネットワーク設定レポート

ネットワーク設定レポートは、ネットワークプリントサーバーの設定を含む、現在のネットワーク設定を一覧表示したレポートです。

ノード名

ノード名は、ネットワーク上の製品名です。WINS サーバーに登録されている NetBIOS 名になります。お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は [BRNxxxxxxxxxxx]、無線 LAN の場合は [BRWxxxxxxxxxxx] となっています。(「xxxxxxxxxxx」は MAC アドレス (イーサネットアドレス) です。)

ピアツーピア

ピアツーピアは、ピアツーピア環境で行う印刷の種類です。ピアツーピア環境では、各コンピューターと各機器との間で直接データの送受信が行われます。アクセスや製品の共有を管理している中心的なサーバーは存在しません。

プロトコル

プロトコルは、ネットワーク上でデータを送信するための、標準化された一連の規則です。ユーザーはプロトコルを使用して、ネットワーク接続されたリソースにアクセスできます。本製品で使用されているプリントサーバーは、転送制御プロトコル/インターネットプロトコル（TCP/IP : Transmission Control Protocol/Internet Protocol）をサポートしています。

MultiWriter 5150 / MultiWriter 5140 ユーザーズガイド ネットワーク操作編

発行年月－ 2015 年 12 月 第 1 版

発行者－日本電気株式会社

ME7733J9-1